

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目*
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。		
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は”GLN”と入力する		
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。		
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は”GLN”と入力する。		
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。		
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。		
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。		
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間		
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストの範囲を作成する。		
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先の範囲を作成する。		
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に”MSG-”を定したものを入力する。		
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。		
			<支払企業>										
16	21	登場人物：小売	支払法人コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社異なる場合には、それぞれ異なる会社コードが入る。		法人コード、支払法人コード、チェーンストアコード
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社異なる場合には、それぞれ異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「O」固定。		
			<発注者>										
18	23	登場人物：小売	発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。		社コード、法人コード、チェーンストアコード
19	24	登場人物：小売	発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。		
20	25	登場人物：小売	発注者名称			任意	文字	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		社名称、法人名称、加盟企業名称
			<取引>										
22	121	番号		取引番号（発注・返品）		必須	数字	Identifier	MAX10		小売側が卸／メーカーに行う発注、返品単位。 伝票番号と同じ意味		伝票番号、伝票番号＋C/D
23	122	番号		取引付属番号		任意	数字	Identifier	MAX10		取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元伝NO、配達伝票番号など）		外注No、客注No、伝票行番号、配達伝票番号
			<直接納品先>										
24	27	登場人物：小売		直接納品先コード		任意※	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。アパレル・生鮮食材以外の場合、必須項目となる。		物流センターコード、店舗コード、
25	28	登場人物：小売		直接納品先GLN		任意※	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定。アパレル・生鮮食材以外の場合、必須項目となる。		
26	29	登場人物：小売		直接納品先名称		任意	文字	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
27	30	登場人物：小売		直接納品先名称カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		物流センター名称、店舗名称
			<最終納品先>										
28	31	登場人物：小売		最終納品先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。		物流センターコード、店舗コード
29	32	登場人物：小売		最終納品先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定		
30	33	登場人物：小売		最終納品先名称		任意	文字	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。		
31	34	登場人物：小売		最終納品先名称カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。		物流センター名称、店舗名称
			<計上部署>										
32	35	登場人物：小売		計上部署コード		必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。		物流センタコード、店舗コード
33	36	登場人物：小売		計上部署GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「O」固定		
34	37	登場人物：小売		計上部署名称（カナ）		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		35「計上部署コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。		物流センター名称、店舗名称
			<陳列場所>										
35	38	登場人物：小売		陳列場所コード		任意※	英数	Identifier	MAX13		売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。 Gondラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。梱包を分けるためのキーとしてセットする。		納品カテゴリー、カテゴリーコード
36	39	登場人物：小売		陳列場所名称		任意	文字	Text	MAX20		38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。		
37	40	登場人物：小売		陳列場所名称カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		38「陳列場所コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。		
			<請求取引先>										
38	51	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。		取引先コード
39	52	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「O」固定		
40	53	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名		任意	文字	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
41	54	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称
			<取引先>										
42	55	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。		取引先コード、メーカーコード

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コ ー ド リ ス ト	現行入力しているデータ項目*
43	56	登録人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉		取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		受注〜出荷〜納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固 定		
44	57	登録人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉		取引先名称		任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
45	58	登録人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉		取引先名称カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称
46	59	登録人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		枝番		任意	英数	Identifier	MAX2		一つの取引先コードの中で、取引明細データの括りを分ける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意 のもとに、小売側が設定する。		デポ、部門、枝番、受注企業コード・予備
47	60	登録人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		出荷先コード		任意	英数	Identifier	MAX4		55「取引先コード」+59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとし て使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。		出荷先コード、フロアー
				<物流関連指示>									
48	63	登録人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		出荷場所GLN		任意※	数字	Identifier	MAX13		取引先の出荷拠点を表す、取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽 出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。		
49	175	各種区分（物流）		納品経路		任意	数字	Code	2		小売が卸／メーカーに対し、店舗直接納品なのか、センター経由納品かを指定する区分。	○	納品区分、納入センター区分、ストック区分
50	176	各種区分（物流）		便No		任意	数字	Code	2		小売店舗への納品配送便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	○	便、便情報、便コード
51	177	各種区分（物流）		通過在庫区分		任意	数字	Code	2		卸／メーカーの小売センターへの納品後、即、センター内で店舗仕分けの上で配送がされるか（通過）、センターに一旦在庫されるか（在庫）を 表す。	○	在庫区分、通過在庫区分
52	178	各種区分（物流）		納品区分		任意	数字	Code	2		卸／メーカーの小売センターへの納品形態。単品総量納品か単品店別納品なのかを表す。	○	センター納品方法、単品総量区分
				<取引内容>									
53	87	商品関連		商品分類（大）		必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		DPTNo、群番、グループコード、部門
54	88	商品関連		商品分類（中）		必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		売場分類No、地区、部門コード、日流経由区分、デ パート
55	101	日付関連		発注日		必須	数字	Date	8		小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）		発注日
56	102	日付関連		直接納品先納品日		任意	数字	Date	8		27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。預りDCから納品する際 の項目のセット方法については、次年度以降継続して検討を行う。		センター納品日、店番荷指定日
57	103	日付関連		最終納品先納品日		必須	数字	Date	8		31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。		店納品指定日、納入日、納品日
58	106	日付関連		計上日		任意	数字	Date	8		小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。		納入日、計上日、店番荷指定日
59	107	日付関連		販促開始日		任意	数字	Date	8		小売店頭の販促（セール）開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記し て納品。チラシなど、あえて梱包を分ける必要がある場合のみセットする。		売出開始日、売出日
60	108	日付関連		販促終了日		任意	数字	Date	8		小売店頭の販促（セール）終了日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記し て納品。		
61	110	日付関連		取引（発注・返品）データ有効日		任意	数字	Date	8		この取引（発注・返品）の有効年月日。この日までに卸／メーカー側から出荷がされ、小売側に納品がない場合は発注自体を無効となる。		
62	171	各種区分（発注）		商品区分		任意	数字	Code	2		定番（プロパー）発注or特売（中目、目玉）発注を表す区分。	○	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分
63	172	各種区分（発注）		発注区分		任意	数字	Code	2		発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	○	発注区分、データ区分
64	173	各種区分（発注）		出荷データ有無区分		任意	数字	Code	2		小売側が、卸／メーカーの出荷データ作成の要不要を指定する項目。	○	EDI区分
65	181	各種区分（商品）		PB区分		任意	数字	Code	2		当該商品が、小売側が開発した独自商品（プライベートブランド商品）か、ナショナルブランド商品かを表す区分。	○	
66	182	各種区分（商品）		配送温度区分		任意	数字	Code	2		温度により特別な処理を行う場合に告知する項目。配送温度帯指定。季節、小売の保管環境で変化する。	○	
67	183	各種区分（商品）		酒区分		任意	数字	Code	2		当該発注商品が酒であるかどうか判別する区分。卸／メーカーでセンターの在庫ロケーションを特定する際に使用。	○	
68	184	各種区分（決済）		処理種別		任意	数字	Code	2		小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセ ージ取引の識別には2「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	○	伝票区分
69	186	各種区分（決済）		伝票レス区分		任意	数字	Code	2		小売が卸／メーカーにペーパー伝票作成の要・不要を告知する区分。	○	伝票有無区分、EDI区分、在庫センター区分
70	201	税		税区分		任意※	数字	Code	2		消費税の区分（込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	○	税区分
71	202	税		税率		任意	数字（小数点以下1桁有り）	Numeric	3		消費税率を表す。		税率
72	231	コメント		自由使用欄		任意	文字	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。 そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。		伝票の自由使用欄（発注）
73	232	コメント		自由使用欄半角カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。 そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。		伝票の自由使用欄（発注）、承認No（受領伝票）
				<取引合計>									
74	133	金額		原価金額合計		任意	数字	Amount	MAX10		1 取引番号（発注・返品）単位の原価金額の合計。1 取引明細の132「原価金額」の足し上げ		原価金額
75	136	金額		売価金額合計		任意	数字	Amount	MAX10		1 取引番号（発注・返品）単位の売価金額の合計。1 取引明細の135「売価金額」の足し上げ		
76	138	金額		税額合計金額		任意	数字	Amount	MAX10		1 取引番号（発注・返品）の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ		
77	157	数量		数量合計		任意	数字	Quantity	MAX6		1 取引番号（発注）単位の151「発注数量（バラ）」の合計。		
78	158	数量		発注単位数量合計		任意	数字	Quantity	MAX6		1 取引番号（発注）単位の153「発注数量（発注単位数）」の合計。		合計ケース数（一括伝票）
				<取引明細>									
79	123	番号			取引明細番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX4		121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味		伝票行番号、行番号
80	124	番号			取引付属明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4		122「取引付属番号」の中でさらに商品単位の明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明 細番号		外注No、客注No、（一括伝票に対する行内のオカレン ス番号）
81	89	商品関連			商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		品揃分類No、品種（商品コードの一部）、ラインコ ード、ライン、店コード（一括伝票）
82	90	商品関連			商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		関係会社分類コード、SKU（商品コードの一部）、ク ラス+サブクラスコード
83	109	日付関連			配達予定日	任意	数字	Date	8		配達必要商品の管理上、配達予定日を帳票などに表記してもらう必要がある場合、その日付。		配達予定日
84	111	日付関連			納品期限	任意	英数	Text	MAX8		31「最終納品先コード」、32「最終納品先GLN」への納品許容日。製品の日付と比較して、入荷を許容する日付。		納品期限、入荷期限
85	179	各種区分（物流）			センター納品詳細指示	任意	数字	Code	2		納品形態を詳細に指示する場合、センターでの仕分けに必要な項目を告知。	○	
					<商品>								
86	71	商品関連			メーカーコード	任意	数字	Identifier	MAX13		JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合（リポート管理等）に使用。		メーカーコード（3桁の独自コード）
87	72	商品関連			商品コード（GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJAN/EAN/UPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コード を使用しない場合は「0」固定		JANコード、頭0+JANコード（14桁）
88	73	商品関連			商品コード（発注用）	必須	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。		商品コード、JANコード、EOS（社内コード）
89	74	商品関連			商品コード（取引先）	任意	英数	Identifier	MAX14		卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。		受注者商品コード、取引先品番、品番
90	75	商品関連			商品コード区分	必須	数字	Code	3		73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	○	

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コ ー ド リ ス ト	現行入力しているデータ項目 [*]
91	77	商品関連			商品名	任意	文字	Text	MAX25		73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。		
92	78	商品関連			商品名カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX25		73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		商品名称
					<商品規格>								
93	79	商品関連			規格	任意	文字	Text	MAX25		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
94	80	商品関連			規格カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX25		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		商品名称
					<カラー>								
95	81	商品関連			カラーコード	任意 [※]	英数	Identifier	MAX10		商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。		カラーコード
96	83	商品関連			カラー名称	任意	文字	Text	MAX20		81「カラーコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
97	84	商品関連			カラー名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		81「カラーコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		カラー名称
					<サイズ>								
98	82	商品関連			サイズコード	任意 [※]	英数	Identifier	MAX10		商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。		サイズコード
99	85	商品関連			サイズ名称	任意	文字	Text	MAX30		82「サイズコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
100	86	商品関連			サイズ名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX30		82「サイズコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		サイズ名称
					<原価>								
101	131	金額			原単価	必須	数字（小数点以下2桁有り）	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価単価。		原価単価、原単価
102	132	金額			原価金額	必須	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価金額（131「原単価」×151「発注数量（バラ）」）。小数以下のまるめ方法は当事者間で決定（四捨五入、切捨て、切上げ）		原価金額
					<売価>								
103	134	金額			売単価	必須	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価単価。		売価単価、売単価
104	135	金額			売価金額	必須	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価金額（134「売単価」×151「発注数量（バラ）」）。		売価金額
					<税額>								
105	137	金額			税額	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の132「原価金額」の消費税額。		消費税等
					<発注数量>								
106	151	数量			発注数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7		1取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。		数量、発注数
107	152	数量			発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4		発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。		発注単位区分、発注単位数、入数
108	153	数量			発注数量（発注単位数）	必須	数字	Quantity	MAX6		発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量（発注単位数）」＝151「発注数量（バラ）」		発注ケース数、発注単位数
109	154	数量			発注単位コード	必須	数字	Code	2		発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	○	単位
110	155	数量			発注荷姿コード	任意	数字	Code	2		納品の実梱包形態にそった発注単位を設定している場合に限り、その荷姿を明示。バラ、ボール、ケース（この項目を使用する場合は154「発注単位コード」は必ず「個」になる） この項目で卸／メーカーに対し、納品荷姿の指定をすることはしない。	○	

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須／任意	タイプ	XML データ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目 [*]
1	1	データ整合性	送信者ID				必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。		
2	2	データ整合性	送信者ID発行元				必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は” GLN”と入力する		
3	3	データ整合性	受信者ID				必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。		
4	4	データ整合性	受信者ID発行元				必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は” GLN”と入力する。		
5	5	データ整合性	バージョン				必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。		
6	6	データ整合性	インスタンスID				必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い140文字程度のユニークIDを生成し入力する。		
7	7	データ整合性	メッセージ種				必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。		
8	8	データ整合性	作成日時				必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間		
9	9	データ整合性	テスト区分ID				任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスコープを作成する。		
10	10	データ整合性	最終送信先ID				任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスコープを作成する。		
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID				必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に” MSG-” を足したものを入力する。		
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
15	15	データ整合性	取引数				任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。		
			<支払企業>											
16	21	登場人物：小売	支払法人コード				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社異なる場合には、それぞれ異なる会社コードが入る。		法人コード、支払法人コード、チェーンストアコード
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社異なる場合には、それぞれ異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「O」固定。		
			<発注者>											
18	23	登場人物：小売	発注者コード				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。		社コード、法人コード、チェーンストアコード
19	24	登場人物：小売	発注者GLN				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。		
20	25	登場人物：小売	発注者名称				任意	文字	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ				任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		社名称、法人名称、加盟企業名称
			<取引>											
22	121	番号		取引番号（発注・返品）			必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味		伝票番号、伝票番号＋C/D
23	122	番号		取引付属番号			任意	数字	Identifier	MAX10	出荷	取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元伝NO、配達伝票番号など）		外注No、客注No、伝票行番号、配達伝票番号
			<直接納品先>											
24	27	登場人物：小売	直接納品先コード				任意 [※]	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。アパレル・生鮮食材以外の場合、必須項目となる。		物流センターコード、店舗コード、
25	28	登場人物：小売	直接納品先GLN				任意 [※]	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定。アパレル・生鮮食材以外の場合、必須項目となる。		
26	29	登場人物：小売	直接納品先名称				任意	文字	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
27	30	登場人物：小売	直接納品先名称カナ				任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		物流センター名称、店舗名称
			<最終納品先>											
28	31	登場人物：小売	最終納品先コード				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。		物流センターコード、店舗コード
29	32	登場人物：小売	最終納品先GLN				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定		
30	33	登場人物：小売	最終納品先名称				任意	文字	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。		
31	34	登場人物：小売	最終納品先名称カナ				任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。		物流センター名称、店舗名称
			<計上部署>											
32	35	登場人物：小売	計上部署コード				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。		物流センタコード、店舗コード
33	36	登場人物：小売	計上部署GLN				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「O」固定		
34	37	登場人物：小売	計上部署名称（カナ）				任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	35「計上部署コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。		物流センター名称、店舗名称
			<陳列場所>											
35	38	登場人物：小売	陳列場所コード				任意 [※]	英数	Identifier	MAX13	発注	売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。 Gondラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。梱包を分けるためのキーとしてセットする。		納品カテゴリー、カテゴリーコード
36	39	登場人物：小売	陳列場所名称				任意	文字	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。		
37	40	登場人物：小売	陳列場所名称カナ				任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。		
			<請求取引先>											
38	51	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。		取引先コード
39	52	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「O」固定		
40	53	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名			任意	文字	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
41	54	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称
			<取引先>											
42	55	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。		取引先コード、メーカーコード

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須／任意	タイプ	XML データ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目 [*]
43	56	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉		取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定		
44	57	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉		取引先名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
45	58	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉		取引先名称カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称
46	59	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		枝番			任意	英数	Identifier	MAX2	発注	一つの取引先コードの中で、取引明細データの括りを分ける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。		デボ、部門、枝番、受注企業コード・予備
47	60	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		出荷先コード			任意	英数	Identifier	MAX4	発注	55「取引先コード」+59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。		出荷先コード、フロアー
				<物流関連指示>										
48	63	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		出荷場所GLN			任意 ※	数字	Identifier	MAX13	出荷	取引先の出荷拠点を表す、取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。		
49	64	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		入荷管理用メーカーコード			任意	数字	Identifier	MAX13	出荷	預りDCで使用するメーカーのプライベートコード		
50	125	番号		センター納品書番号			任意	数字	Identifier	MAX10	出荷	卸／メーカーが、小売のセンターに納品する際に使用する納品書の番号。		送品書№
51	175	各種区分（物流）		納品経路			任意	数字	Code	2	発注	小売が卸／メーカーに対し、店舗直接納品なのか、センター経由納品かを指定する区分。	○	納品区分、納入センター区分、ストック区分
52	176	各種区分（物流）		便№			任意	数字	Code	2	発注	小売店舗への納品配送便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	○	便、便情報、便コード
53	177	各種区分（物流）		通過在庫区分			任意	数字	Code	2	発注	卸／メーカーの小売センターへの納品後、卸、センター内で店舗仕分けの上で配送がされるか（通過）、センターに一旦在庫されるか（在庫）を表す。	○	在庫区分、通過在庫区分
54	178	各種区分（物流）		納品区分			任意	数字	Code	2	発注	卸／メーカーの小売センターへの納品形態。単品総量納品か単品店別納品なのかを表す。	○	センター納品方法、単品総量区分
				<取引内容>										
55	87	商品関連		商品分類（大）			必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）		DPT№、群番、グループコード、部門
56	88	商品関連		商品分類（中）			必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）		売場分類№、地区、部門コード、日流経由区分、デパート
57	101	日付関連		発注日			必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）		発注日
58	102	日付関連		直接納品先納品日			任意	数字	Date	8	発注	27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。アパレル・生鮮食材以外の場合、必須項目となる。預りDCから納品する際の項目のセット方法については、次年度以降継続して検討を行う。		センター納品日、店着荷指定日
59	103	日付関連		最終納品先納品日			必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。		店納品指定日、納入日、納品日
60	104	日付関連		訂正後直接納品先納品日			任意	数字	Date	8	出荷	卸／メーカー側が、受注後、出荷までに27「直接納品先コード」28「直接納品先GLN」への納品日を訂正する場合、訂正後の納品日をセット		
61	106	日付関連		計上日			任意	数字	Date	8	発注	小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。		納入日、計上日、店着荷指定日
62	107	日付関連		販促開始日			任意	数字	Date	8	発注	小売店頭の販促（セール）開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記して納品。チラシなど、あえて梱包を分ける必要がある場合のみセットする。		売出開始日、売出日
63	108	日付関連		販促終了日			任意	数字	Date	8	発注	小売店頭の販促（セール）終了日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記して納品。		
64	171	各種区分（発注）		商品区分			任意	数字	Code	2	発注	定番(プロパー)発注or特売(中目,目玉)発注を表す区分。	○	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分
65	172	各種区分（発注）		発注区分			任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	○	発注区分、データ区分
66	173	各種区分（発注）		出荷データ有無区分			任意	数字	Code	2	発注	小売側が、卸／メーカーの出荷データ作成の要不要を指定する項目。	○	EDI区分
67	174	各種区分（発注）		EOS区分			任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。	○	
68	181	各種区分（商品）		PB区分			任意	数字	Code	2	発注	当該商品が、小売側が開発した独自商品（プライベートブランド商品）か、ナショナルブランド商品かを表す区分。	○	
69	182	各種区分（商品）		配送温度区分			任意	数字	Code	2	発注	温度により特別な処理を行う場合に告知する項目。配送温度帯指定。季節、小売の保管環境で変化する。	○	
70	183	各種区分（商品）		酒区分			任意	数字	Code	2	発注	当該発注商品が酒であるかどうかを判別する区分。卸／メーカーでセンターの在庫ロケーションを特定する際に使用。	○	
71	184	各種区分（決済）		処理種別			任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には2「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	○	伝票区分
72	186	各種区分（決済）		伝票レス区分			任意	数字	Code	2	発注	小売が卸／メーカーにペーパー伝票作成の要・不要を告知する区分。	○	伝票有無区分、EDI区分、在庫センター区分
73	201	税		税区分			任意 ※	数字	Code	2	発注	消費税の区分（込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	○	税区分
74	202	税		税率			任意	数字（小数点以下1桁有り）	Numeric	3	発注	消費税率を表す。		税率
75	231	コメント		自由使用欄			任意	文字	Text	MAX60	出荷	伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。		伝票の自由使用欄（発注）
76	232	コメント		自由使用欄半角カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX60	出荷	伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。		伝票の自由使用欄（発注）、承認№(受領伝票)
				<取引合計>										
77	133	金額		原価金額合計			任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引番号（発注・返品）単位の原価金額の合計。1取引明細の132「原価金額」の足し上げ		原価金額
78	136	金額		売価金額合計			任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引番号（発注・返品）単位の売価金額の合計。1取引明細の135「売価金額」の足し上げ		
79	138	金額		税額合計金額			任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引番号（発注・返品）の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ		
80	157	数量		数量合計			任意	数字	Quantity	MAX6	再計算	1取引番号（発注）単位の151「発注数量(バラ)」の合計。		
81	158	数量		発注単位数量合計			任意	数字	Quantity	MAX6	再計算	1取引番号（発注）単位の153「発注数量(発注単位数)」の合計。		合計ケース数（一括伝票）
				<取引明細>										
82	123	番号			取引明細番号（発注・返品）		必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味		伝票行番号、行番号
83	124	番号			取引付属明細番号		任意	英数	Identifier	MAX4	出荷	122「取引付属番号」の中でさらに商品単位の明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明細番号		外注№、客注№、（一括伝票に対する行内のオカレンス番号）
84	89	商品関連			商品分類（小）		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）		品揃分類№、品種（商品コードの一部）、ラインコード、ライン、店コード（一括伝票）
85	90	商品関連			商品分類（細）		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）		関係会社分類コード、SKU（商品コードの一部）、クラス+サブクラスコード
86	109	日付関連			配達予定日		任意	数字	Date	8	発注	配達必要商品の管理上、配達予定日を帳票などに表記してもらう必要がある場合、その日付。		配達予定日
87	111	日付関連			納品期限		任意	英数	Text	MAX8	発注	31「最終納品先コード」、32「最終納品先GLN」への納品許容日。製品の日付と比較して、入荷を許容する日付。		納品期限、入荷期限
88	179	各種区分（物流）			センター納品詳細指示		任意	数字	Code	2	発注	納品形態を詳細に指示する場合、センターでの仕分けに必要な項目を告知。	○	
				<商品>										
89	71	商品関連			メーカーコード		任意	数字	Identifier	MAX13	発注	JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合（リポート管理等）に使用。		メーカーコード（3桁の独自コード）
90	72	商品関連			商品コード（GTIN）		必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「O」固定		JANコード、頭0+JANコード（14桁）

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須／任意	タイプ	XML データ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目*
91	73	商品関連			商品コード（発注用）		必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。		商品コード、JANコード、EOS（社内コード）
92	74	商品関連			商品コード（取引先）		任意	英数	Identifier	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。		受注者商品コード、取引先品番、品番
93	75	商品関連			商品コード区分		必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	○	
94	77	商品関連			商品名		任意	文字	Text	MAX25	発注	73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。		
95	78	商品関連			商品名カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX25	発注	73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		商品名称
					<商品規格>									
96	79	商品関連			規格		任意	文字	Text	MAX25	発注	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
97	80	商品関連			規格カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX25	発注	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		商品名称
					<カラー>									
98	81	商品関連			カラーコード		任意※	英数	Identifier	MAX10	発注	商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。		カラーコード
99	83	商品関連			カラー名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	81「カラーコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
100	84	商品関連			カラー名称カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	81「カラーコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		カラー名称
					<サイズ>									
101	82	商品関連			サイズコード		任意※	英数	Identifier	MAX10	発注	商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。		サイズコード
102	85	商品関連			サイズ名称		任意	文字	Text	MAX30	発注	82「サイズコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
103	86	商品関連			サイズ名称カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX30	発注	82「サイズコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		サイズ名称
					<原価>									
104	131	金額			原単価		必須	数字（小数点以下2桁有り）	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。		原価単価、原単価
105	132	金額			原価金額		必須	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の商品の原価金額（131「原単価」×151「発注数量/バラ」）。小数以下のまるめ方法は当事者間で決定（四捨五入、切捨て、切上げ）		原価金額
					<売価>									
106	134	金額			売単価		必須	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。		売価単価、売単価
107	135	金額			売価金額		必須	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の商品の売価金額（134「売単価」×151「発注数量/バラ」）。		売価金額
					<税額>									
108	137	金額			税額		任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の132「原価金額」の消費税額。		消費税等
					<発注数量>									
109	151	数量			発注数量（バラ）		必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	発注	1取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。		数量、発注数
110	152	数量			発注単位		必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。		発注単位区分、発注単位数、入数
111	153	数量			発注数量（発注単位数）		必須	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」＝151「発注数量/バラ」		発注ケース数、発注単位数
112	154	数量			発注単位コード		必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	○	単位
113	155	数量			発注荷姿コード		任意	数字	Code	2	発注	納品の実梱包形態にそった発注単位を設定している場合に限り、その荷姿を明示、バラ、ボール、ケース（この項目を使用する場合は154「発注単位コード」は必ず'個'になる） この項目で卸／メーカーに対し、納品荷姿の指定をすることはしない。	○	
					<出荷数量>									
114	159	数量			出荷数量（バラ）		必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷バラ数。出荷時に卸／メーカー側がセット		出荷数量
115	160	数量			出荷数量（発注単位数）		任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット		
					<欠品数量>									
116	165	数量			欠品数量（バラ数）		必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	出荷	1取引明細（発注）単位の卸／メーカー側の欠品数（納品不足数）。バラ数量換算。出荷時に卸／メーカー側がセット		欠品数量
117	166	数量			欠品数量(発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1取引明細（発注）単位の卸／メーカー側の欠品数（納品不足数）。発注単位換算。出荷時に卸／メーカー側がセット		
118	197	各種区分（発注）			欠品区分		任意	数字	Code	2	出荷	卸／メーカー側出荷時に、実出荷数が発注数に不足（欠品）が発生した場合、出荷者がセットするその理由。	○	欠品理由、欠品区分
					<出荷荷姿情報>									
119	76	商品関連				ITFコード(集合包装GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX16	出荷	集合包装に印刷表示するバーコードシンボルのコード。小売側の入荷検品に使用。ITF-14,ITF-16,あるいは納品荷姿に応じた集合包装用GTIN。		
120	112	日付関連				賞味期限日	任意	数字	Date	8	出荷	商品（またはその外箱）に印字されている賞味期限。		
121	113	日付関連				製造日	任意	数字	Date	8	出荷	商品（またはその外箱）に印字されている製造年月日。		
122	126	番号				製造番号	任意	英数	Identifier	MAX16	出荷	製品の製造ロット番号。出荷時点で卸／メーカー側がセット。		
123	156	数量				出荷荷姿コード	必須	数字	Code	2	出荷	実際の出荷荷姿。卸・メーカーがセット	○	
124	161	数量				出荷数量（出荷荷姿数）	必須	数字	Quantity	MAX6	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷の出荷荷姿の換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット		

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須／任意	タイプ	XML データ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目 [*]	
1	1	データ整合性	送信者ID				必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元				必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は” GLN”と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID				必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元				必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は” GLN”と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン				必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID				必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種				必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時				必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID				任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストの範囲を作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID				任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先の範囲を作成する。			
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID				必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に” MSG-” を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数				任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<請求取引先>												
16	51	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先コード				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。		取引先コード	
17	52	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先GLN				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「0」固定			
18	53	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先名				任意	文字	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
19	54	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先名カナ				任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称	
			<取引先>												
20	55	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先コード				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。		取引先コード、メーカーコード	
21	56	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先GLN				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定			
22	57	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先名称				任意	文字	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
23	58	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先名称カナ				任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称	
24	59	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉	枝番				任意	英数	Identifier	MAX2	発注	一つの取引先コードの中で、取引明細データの括りを分ける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。		デボ、部門、枝番、受注企業コード・予備	
25	60	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉	出荷先コード				任意	英数	Identifier	MAX4	発注	55「取引先コード」＋59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。		出荷先コード、フローア	
26	63	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉	出荷場所GLN				任意 [※]	数字	Identifier	MAX13	出荷	取引先の出荷拠点を表す、取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。			
27	218	梱包情報	担当者				任意	文字	Text	MAX10	出荷	出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名			
28	219	梱包情報	担当者カナ				任意	文字（半角カナ）	Text	MAX10	出荷	出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名（カナ）		担当者	
29	220	梱包情報	連絡先(TEL)				任意	英数	Text	MAX12	出荷	198「担当者」の電話番号。		連絡先（TEL）	
30	221	梱包情報	連絡先(FAX)				任意	英数	Text	MAX12	出荷	198「担当者」のFAX番号。		連絡先（FAX）	
			<直接納品先>												
31	27	登場人物：小売	直接納品先コード				任意 [※]	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。		物流センターコード、店舗コード、	
32	28	登場人物：小売	直接納品先GLN				任意 [※]	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。			
33	29	登場人物：小売	直接納品先名称				任意	文字	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
34	30	登場人物：小売	直接納品先名称カナ				任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		物流センター名称、店舗名称	
			<物流関連指示>												
35	211	梱包情報	取引先出荷日				必須	数字	Date		8	出荷	卸／メーカーが商品を出荷した日。		取引先出荷日、バンダー出荷年月日
36	102	日付関連	直接納品先納品日				任意	数字	Date		8	発注	27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。預りDCから納品する際の項目のセット方法については、次年度以降継続して検討を行う。		センター納品日、店着荷指定日
37	104	日付関連	訂正後直接納品先納品日				任意	数字	Date		8	出荷	卸／メーカー側が、受注後、出荷までに27「直接納品先コード」28「直接納品先GLN」への納品日を訂正する場合、訂正後の納品日をセット		
38	125	番号	センター納品書番号				任意	数字	Identifier	MAX10	出荷	卸／メーカーが、小売のセンターに納品する際に使用する納品書の番号。		送品書No.	
39	213	梱包情報	出荷総梱包数				必須	数字	Quantity	MAX6	出荷	出荷（梱包）単位の総梱包数。		取引先出荷梱包数、バンダー出荷総梱包数	
40	176	各種区分（物流）	便No				任意	数字	Code		2	発注	小売店舗への納品配送便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	○	便、便情報、便コード
			<発注者>												
41	23	登場人物：小売		発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。		社コード、法人コード、チェーンストアコード	
42	24	登場人物：小売		発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
43	25	登場人物：小売		発注者名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
44	26	登場人物：小売		発注者名称カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		社名称、法人名称、加盟企業名称	
			<最終納品先>												
45	31	登場人物：小売		最終納品先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。		物流センターコード、店舗コード	

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須／任意	タイプ	XML データ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コ ド リ ス ト	現行入力しているデータ項目 [*]
46	32	登場人物：小売		最終納品先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定		
47	33	登場人物：小売		最終納品先名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。		
48	34	登場人物：小売		最終納品先名称カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。		物流センター名称、店舗名称
49	215	梱包情報		カゴテナNO			任意	数字	Identifier	MAX36	出荷	梱包NOがひもつく上位の搬送機器の梱包NO。カゴ車やパレットを想定している。		
					<出荷梱包内容>									
50	216	梱包情報			親梱包NO		任意	数字	Identifier	MAX36	出荷	1つの商品で、複数梱包が発生する場合、梱包同士の紐付けを行う区分。 例）テーブルセットのテーブルと椅子 のような例		
51	217	梱包情報			梱包NO		必須	数字	Identifier	MAX36	出荷	梱包単位に付けられたNo.		梱包No.
					<陳列場所>									
52	38	登場人物：小売			陳列場所コード		任意 [※]	英数	Identifier	MAX13	発注	売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。ゴンドラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。梱包を分けるためのキーとしてセットする。		納品カテゴリー、カテゴリーコード
53	39	登場人物：小売			陳列場所名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。		
54	40	登場人物：小売			陳列場所名称カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。		
55	107	日付関連			販促開始日		任意	数字	Date	8	発注	小売店頭の販促（セール）開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記して納品。チラシなど、あえて梱包を分ける必要がある場合のみセットする。		売出開始日、売出日
					<取引明細>									
56	121	番号				取引番号（発注・返品）	必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品単位。 伝票番号と同じ意味		伝票番号、伝票番号＋C/D
57	123	番号				取引明細番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味		伝票行番号、行番号
58	101	日付関連				発注日	必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）		発注日
59	103	日付関連				最終納品先納品日	必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。		店納品指定日、納入日、納品日
					<商品>									
60	72	商品関連				商品コード（GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定		JANコード、頭0＋JANコード（14桁）
61	73	商品関連				商品コード（発注用）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。		商品コード、JANコード、EOS（社内コード）
62	74	商品関連				商品コード（取引先）	任意	英数	Identifier	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。		受注者商品コード、取引先品番、品番
63	75	商品関連				商品コード区分	必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	○	
64	87	商品関連				商品分類（大）	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		DPTNo.、群番、グループコード、部門
65	88	商品関連				商品分類（中）	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		売場分類No.、地区、部門コード、日流経由区分、デパート
66	89	商品関連				商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		品揃分類No.、品種（商品コードの一部）、ラインコード、ライン、店コード（一括伝票）
67	90	商品関連				商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		関係会社分類コード、SKU（商品コードの一部）、クラス＋サブクラスコード
68	112	日付関連				賞味期限日	任意	数字	Date	8	出荷	商品（またはその外箱）に印字されている賞味期限。		
69	113	日付関連				製造日	任意	数字	Date	8	出荷	商品（またはその外箱）に印字されている製造年月日。		
70	126	番号				製造番号	任意	英数	Identifier	MAX16	出荷	製品の製造ロット番号。出荷時点で卸／メーカー側がセット。		
					<区分>									
71	171	各種区分（発注）				商品区分	任意	数字	Code	2	発注	定番(プロバー)発注or特売(中目玉)発注を表す区分。	○	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分
72	172	各種区分（発注）				発注区分	任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	○	発注区分、データ区分
73	174	各種区分（発注）				EOS区分	任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。	○	
74	184	各種区分（決済）				処理種別	任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には2「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	○	伝票区分
					<発注数量>									
75	151	数量				発注数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1 桁有り）	Quantity	MAX7	発注	1取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。		数量、発注数
76	152	数量				発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。		発注単位区分、発注単位数、入数
77	153	数量				発注数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」＝151「発注数量(バラ)」		発注ケース数、発注単位数
78	154	数量				発注単位コード	必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	○	単位
					<出荷数量>									
79	159	数量				出荷数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1 桁有り）	Quantity	MAX7	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷バラ数。出荷時に卸／メーカー側がセット		出荷数量
80	160	数量				出荷数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット		
					<原価>									
81	131	金額				原単価	必須	数字（小数点以下2 桁有り）	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。		原価単価、原単価
					<売価>									
82	134	金額				売単価	任意 [※]	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。		売価単価、売単価
				< I T F 情報 >										
83	76	商品関連				ITFコード(集合包装GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX16	出荷	集合包装に印刷表示するバーコードシンボルのコード。小売側の入荷検品に使用。ITF-14,ITF-16あるいは納品荷姿に応じた集合包装用GTIN。		
84	212	梱包情報				出荷ケース数	必須	数字	Quantity	MAX6	出荷	出荷（梱包）単位の出荷数。出荷（梱包）データ内のITFレコードにセットする。		
85	214	梱包情報				ITF入数(集合包装GTIN入数)	任意	数字	Quantity	MAX4	出荷	この正梱内に商品コード（発注用）がいくつあるかということ。商品コード(発注用) がボールであればケース内ボール数、バラであればケース内バラ数。		
					<陳列場所>									
86	38	登場人物：小売				陳列場所コード	任意 [※]	英数	Identifier	MAX13	発注	売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。ゴンドラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。梱包を分けるためのキーとしてセットする。		納品カテゴリー、カテゴリーコード
87	39	登場人物：小売				陳列場所名称	任意	文字	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。		

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須／任意	タイプ	XML データ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コ ド リ ス ト	現行入力しているデータ項目 [*]
88	40	登場人物：小売			陳列場所名称力ナ		任意	文字（半角力ナ）	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称（半角力ナ）。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。		
89	107	日付関連			販促開始日		任意	数字	Date	8	発注	小売店舗の販促（セール）開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記して納品。チラシなど、あえて梱包を分ける必要がある場合のみセットする。		売出開始日、売出日
					<取引明細>									
90	121	番号			取引番号（発注・返品）		必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味		伝票番号、伝票番号+C/D
91	123	番号			取引明細番号（発注・返品）		必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味		伝票行番号、行番号
92	101	日付関連			発注日		必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）		発注日
93	103	日付関連			最終納品先納品日		必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。		店納品指定日、納入日、納品日
					<商品>									
94	72	商品関連			商品コード（GTIN）		必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定		JANコード、頭0+JANコード（14桁）
95	73	商品関連			商品コード（発注用）		必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。		商品コード、JANコード、EOS（社内コード）
96	74	商品関連			商品コード（取引先）		任意	英数	Identifier	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。		受注者商品コード、取引先品番、品番
97	75	商品関連			商品コード区分		必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	○	
98	87	商品関連			商品分類（大）		必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		DPT№、群番、グループコード、部門
99	88	商品関連			商品分類（中）		必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		売場分類№、地区、部門コード、日流経由区分、デパート
100	89	商品関連			商品分類（小）		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		品揃分類№、品種（商品コードの一部）、ラインコード、ライン、店コード（一括伝票）
101	90	商品関連			商品分類（細）		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		関係会社分類コード、SKU（商品コードの一部）、クラス+サブクラスコード
102	112	日付関連			賞味期限日		任意	数字	Date	8	出荷	商品（またはその外箱）に印字されている賞味期限。		
103	113	日付関連			製造日		任意	数字	Date	8	出荷	商品（またはその外箱）に印字されている製造年月日。		
104	126	番号			製造番号		任意	英数	Identifier	MAX16	出荷	製品の製造ロット番号。出荷時点で卸／メーカー側がセット。		
					<区分>									
105	171	各種区分（発注）			商品区分		任意	数字	Code	2	発注	定番(プロバー)発注or特売(中目,目玉)発注を表す区分。	○	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分
106	172	各種区分（発注）			発注区分		任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	○	発注区分、データ区分
107	174	各種区分（発注）			EOS区分		任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。	○	
108	184	各種区分（決済）			処理種別		任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には2「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	○	伝票区分
					<発注数量>									
109	151	数量			発注数量（バラ）		必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	発注	1取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。		数量、発注数
110	152	数量			発注単位		必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。		発注単位区分、発注単位数、入数
111	153	数量			発注数量（発注単位数）		任意	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」＝151「発注数量(バラ)」		発注ケース数、発注単位数
112	154	数量			発注単位コード		必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	○	単位
					<出荷数量>									
113	159	数量			出荷数量（バラ）		必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷バラ数。出荷時に卸／メーカー側がセット		出荷数量
114	160	数量			出荷数量（発注単位数）		任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット		
					<原価>									
115	131	金額			原単価		必須	数字（小数点以下2桁有り）	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。		原価単価、原単価
					<売価>									
116	134	金額			売単価		任意※	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。		売価単価、売単価
				<欠品情報>										
117	165	数量			欠品数量（バラ数）		必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	出荷	1取引明細（発注）単位の卸／メーカー側の欠品数（納品不足数）。バラ数量換算。出荷時に卸／メーカー側がセット		欠品数量
118	166	数量			欠品数量(発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1取引明細（発注）単位の卸／メーカー側の欠品数（納品不足数）。発注単位換算。出荷時に卸／メーカー側がセット		
119	197	各種区分（決済）			欠品区分		任意	数字	Code	2	出荷	卸／メーカー側出荷時に、実出荷数が発注数に不足（欠品）が発生した場合、出荷者がセットするその理由。	○	欠品理由、欠品区分
					<取引明細>									
120	121	番号			取引番号（発注・返品）		必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味		伝票番号、伝票番号+C/D
121	123	番号			取引明細番号（発注・返品）		必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味		伝票行番号、行番号
122	101	日付関連			発注日		必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）		発注日
123	103	日付関連			最終納品先納品日		必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。		店納品指定日、納入日、納品日
					<商品>									
124	72	商品関連			商品コード（GTIN）		必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定		JANコード、頭0+JANコード（14桁）
125	73	商品関連			商品コード（発注用）		必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。		商品コード、JANコード、EOS（社内コード）
126	74	商品関連			商品コード（取引先）		任意	英数	Identifier	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。		受注者商品コード、取引先品番、品番
127	75	商品関連			商品コード区分		必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	○	
128	87	商品関連			商品分類（大）		必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		DPT№、群番、グループコード、部門
129	88	商品関連			商品分類（中）		必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		売場分類№、地区、部門コード、日流経由区分、デパート
130	89	商品関連			商品分類（小）		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		品揃分類№、品種（商品コードの一部）、ラインコード、ライン、店コード（一括伝票）

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須／任意	タイプ	XML データ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目 [*]
131	90	商品関連			商品分類（細）		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		関係会社分類コード、SKU（商品コードの一部）、クラス+サブクラスコード
					<区分>									
132	171	各種区分（発注）			商品区分		任意	数字	Code	2	発注	定番(フロバー)発注or特売(中目,目玉)発注を表す区分。	○	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分
133	172	各種区分（発注）			発注区分		任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	○	発注区分、データ区分
134	174	各種区分（発注）			EOS区分		任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。	○	
135	184	各種区分（決済）			処理種別		任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には2「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	○	伝票区分
					<発注数量>									
136	151	数量			発注数量（バラ）		必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	発注	1取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。		数量、発注数
137	152	数量			発注単位		必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。		発注単位区分、発注単位数、入数
138	153	数量			発注数量（発注単位数）		任意	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」＝151「発注数量(バラ)」		発注ケース数、発注単位数
139	154	数量			発注単位コード		必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	○	単位
					<原価>									
140	131	金額			原単価		必須	数字（小数点以下2桁有り）	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。		原価単価、原単価
					<売価>									
141	134	金額			売単価		任意※	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。		売価単価、売単価

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目 [*]
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。		
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する		
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。		
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する。		
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。		
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い140文字程度のユニークIDを生成し入力する。		
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。		
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間		
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスコープを作成する。		
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスコープを作成する。		
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に“MSG-”を足したものを入力する。		
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。		
16	51	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。		取引先コード
17	52	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「0」固定		
18	53	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先名			任意	文字	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
19	54	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先名カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称
20	55	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。		取引先コード、メーカーコード
21	56	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定		
22	57	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
23	58	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先名称カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称
24	59	登場人物：卸／メーカー 〈レイク集計調整関連〉	枝番			任意	英数	Identifier	MAX2	発注	一つの取引先コードの中で、取引明細データの括りを分ける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。		デボ、部門、枝番、受注企業コード・予備
25	60	登場人物：卸／メーカー 〈レイク集計調整関連〉	出荷先コード			任意	英数	Identifier	MAX4	発注	55「取引先コード」＋59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。		出荷先コード、フロアー
26	63	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉	出荷場所GLN			任意 [※]	数字	Identifier	MAX13	出荷	取引先の出荷地点を表す。取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。		
27	218	梱包情報	担当者			任意	文字	Text	MAX10	出荷	出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名		
28	219	梱包情報	担当者カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX10	出荷	出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名（カナ）		担当者
29	220	梱包情報	連絡先(TEL)			任意	英数	Text	MAX12	出荷	218「担当者」の電話番号。		連絡先（TEL）
30	221	梱包情報	連絡先(FAX)			任意	英数	Text	MAX12	出荷	218「担当者」のFAX番号。		連絡先（FAX）
31	27	登場人物：小売	直接納品先コード			任意 [※]	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。アパレル・生鮮食材以外の場合、必須項目となる。		物流センターコード、店舗コード、
32	28	登場人物：小売	直接納品先GLN			任意 [※]	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定。アパレル・生鮮食材以外の場合、必須項目となる。		
33	29	登場人物：小売	直接納品先名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
34	30	登場人物：小売	直接納品先名称カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		物流センター名称、店舗名称
35	211	梱包情報	取引先出荷日			必須	数字	Date	8	出荷	卸／メーカーが商品を出荷した日。		取引先出荷日、バンダー出荷年月日
36	102	日付関連	直接納品先納品日			任意	数字	Date	8	発注	27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。アパレル・生鮮食材以外の場合、必須項目となる。預りDCから納品する際の項目のセット方法については、次年度以降継続して検討を行う。		センター納品日、店着荷指定日
37	104	日付関連	訂正後直接納品先納品日			任意	数字	Date	8	出荷	卸／メーカー側が、受注後、出荷までに27「直接納品先コード」28「直接納品先GLN」への納品日を訂正する場合、訂正後の納品日をセット		
38	125	番号	センター納品書番号			任意	数字	Identifier	MAX10	出荷	卸／メーカーが、小売のセンターに納品する際に使用する納品書の番号。		送り書No
39	213	梱包情報	出荷総梱包数			必須	数字	Quantity	MAX6	出荷	出荷（梱包）単位の総梱包数。		取引先出荷梱包数、バンダー出荷総梱包数
40	176	各種区分（物流）	便No			任意	数字	Code	2	発注	小売店舗への納品配送便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	○ 便、便情報、便コード	
41	23	登場人物：小売		発注者コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。		社コード、法人コード、チェーンストアコード
42	24	登場人物：小売		発注者GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。		
43	25	登場人物：小売		発注者名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		
44	26	登場人物：小売		発注者名称カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		社名称、法人名称、加盟企業名称
45	31	登場人物：小売		最終納品先コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。		物流センターコード、店舗コード

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目…小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目 [*]
46	32	登場人物：小売		最終納品先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定		
47	33	登場人物：小売		最終納品先名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。		
48	34	登場人物：小売		最終納品先名称カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。	物流センター名称、店舗名称	
49	215	梱包情報		カゴテナNO		任意	数字	Identifier	MAX36	出荷	梱包NOがひもつく上位の搬送機器の梱包NO。カゴ車やパレットを想定している。		
				<出荷梱包内容>									
50	216	梱包情報			親梱包NO	任意	数字	Identifier	MAX36	出荷	1つの商品で、複数梱包が発生する場合、梱包同士の紐付けを行う区分。 例）テーブルセットのテーブルと椅子 のような例		
51	217	梱包情報			梱包NO	必須	数字	Identifier	MAX36	出荷	梱包単位に付けられたNo.	梱包No.	
					<陳列場所>								
52	38	登場人物：小売		陳列場所コード		任意 [*]	英数	Identifier	MAX13	発注	売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。ゴンドラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。梱包を分けるためのキーとしてセットする。	納品カテゴリー、カテゴリーコード	
53	39	登場人物：小売		陳列場所名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。		
54	40	登場人物：小売		陳列場所名称カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。		
55	107	日付関連			販売開始日	任意	数字	Date	8	発注	小売店頭の販促（セール）開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記して納品。チラシなど、あえて梱包を分ける必要がある場合のみセットする。	売出開始日、売出日	
				<取引明細>									
56	121	番号			取引番号（発注・返品）	必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	伝票番号、伝票番号＋C/D	
57	123	番号			取引明細番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行番号、行番号	
58	101	日付関連			発注日	必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）	発注日	
59	103	日付関連			最終納品先納品日	必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。	店納品指定日、納入日、納品日	
					<商品>								
60	72	商品関連			商品コード（GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定	JANコード、頭0＋JANコード（14桁）	
61	73	商品関連			商品コード（発注用）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。	商品コード、JANコード、EOS（社内コード）	
62	74	商品関連			商品コード（取引先）	任意	英数	Identifier	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。	受注者商品コード、取引先品番、品番	
63	75	商品関連			商品コード区分	必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	○	
64	87	商品関連			商品分類（大）	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	DPTNo.、群番、グループコード、部門	
65	88	商品関連			商品分類（中）	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	売場分類No.、地区、部門コード、日流経由区分、デパート	
66	89	商品関連			商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	品揃分類No.、品種（商品コードの一部）、ラインコード、ライン、店コード（一括伝票）	
67	90	商品関連			商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	関係会社分類コード、SKU（商品コードの一部）、クラス＋サブクラスコード	
68	112	日付関連			賞味期限日	任意	数字	Date	8	出荷	商品（またはその外箱）に印字されている賞味期限。		
69	113	日付関連			製造日	任意	数字	Date	8	出荷	商品（またはその外箱）に印字されている製造年月日。		
70	126	番号			製造番号	任意	英数	Identifier	MAX16	出荷	製品の製造ロット番号。出荷時点で卸／メーカー側がセット。		
					<区分>								
71	171	各種区分（発注）			商品区分	任意	数字	Code	2	発注	定番（プロバー）発注or特売(中目,目玉)発注を表す区分。	○ 商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分	
72	172	各種区分（発注）			発注区分	任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（密注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	○ 発注区分、データ区分	
73	174	各種区分（発注）			EOS区分	任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。	○	
74	184	各種区分（決済）			処理種別	任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には2「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	○ 伝票区分	
					<発注数量>								
75	151	数量			発注数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	発注	1取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	数量、発注数	
76	152	数量			発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品/バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	発注単位区分、発注単位数、入数	
77	153	数量			発注数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」＝151「発注数量(バラ)」	発注ケース数、発注単位数	
78	154	数量			発注単位コード	必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	○ 単位	
					<出荷数量>								
79	159	数量			出荷数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷バラ数。出荷時に卸／メーカー側がセット	出荷数量	
80	160	数量			出荷数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット		
					<原価>								
81	131	金額			原単価	必須	数字（小数点以下2桁有り）	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。	原価単価、原単価	
					<売価>								
82	134	金額			売単価	任意 [*]	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。	売価単価、売単価	
				<ITF情報>									
83	76	商品関連			ITFコード(集合包装GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX16	出荷	集合包装に印刷表示するバーコードシンボルのコード。小売側の入荷検品に使用。ITF-14,ITF-16,あるいは納品荷姿に応じた集合包装用GTIN。		
84	212	梱包情報			出荷ケース数	必須	数字	Quantity	MAX6	出荷	出荷（梱包）単位の出荷数。出荷（梱包）データ内のITFレコードにセットする。		
85	214	梱包情報			ITF入数(集合包装GTIN入数)	任意	数字	Quantity	MAX4	出荷	この正極内に商品コード（発注用）がいくつあるかということ。商品コード(発注用)がボールであればケース内ボール数、バラであればケース内バラ数。		
					<陳列場所>								
86	38	登場人物：小売			陳列場所コード	任意 [*]	英数	Identifier	MAX13	発注	売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。ゴンドラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。梱包を分けるためのキーとしてセットする。	納品カテゴリー、カテゴリーコード	
87	39	登場人物：小売			陳列場所名称	任意	文字	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。		

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目 [*]
88	40	登場人物：小売			陳列場所名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。		
89	107	日付関連			販促開始日	任意	数字	Date	8	発注	小売店頭の販促（セール）開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記して納品。チラシなど、あえて梱包を分ける必要がある場合のみセットする。		売出開始日、売出日
					<取引明細>								
90	121	番号			取引番号（発注・返品）	必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味		伝票番号、伝票番号+C/D
91	123	番号			取引明細番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味		伝票行番号、行番号
92	101	日付関連			発注日	必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）		発注日
93	103	日付関連			最終納品先納品日	必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。		店納品指定日、納入日、納品日
					<商品>								
94	72	商品関連			商品コード（GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJAN/EAN/UPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定		JANコード、頭0+JANコード（14桁）
95	73	商品関連			商品コード（発注用）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。		商品コード、JANコード、EOS（社内コード）
96	74	商品関連			商品コード（取引先）	任意	英数	Identifier	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。		受注者商品コード、取引先品番、品番
97	75	商品関連			商品コード区分	必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	○	
98	87	商品関連			商品分類（大）	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		DPTNo、群番、グループコード、部門
99	88	商品関連			商品分類（中）	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		売場分類No、地区、部門コード、日流経由区分、デパート
100	89	商品関連			商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		品揃分類No、品種（商品コードの一部）、ラインコード、ライン、店コード（一括伝票）
101	90	商品関連			商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		関係会社分類コード、SKU（商品コードの一部）、クラス+サブクラスコード
102	112	日付関連			賞味期限日	任意	数字	Date	8	出荷	商品（またはその外箱）に印字されている賞味期限。		
103	113	日付関連			製造日	任意	数字	Date	8	出荷	商品（またはその外箱）に印字されている製造年月日。		
104	126	番号			製造番号	任意	英数	Identifier	MAX16	出荷	製品の製造ロット番号。出荷時点で卸／メーカー側がセット。		
					<区分>								
105	171	各種区分（発注）			商品区分	任意	数字	Code	2	発注	定番(プロバー)発注or特売(中目,目玉)発注を表す区分。	○	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分
106	172	各種区分（発注）			発注区分	任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（密注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	○	発注区分、データ区分
107	174	各種区分（発注）			EOS区分	任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。	○	
108	184	各種区分（決済）			処理種別	任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には2「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	○	伝票区分
					<発注数量>								
109	151	数量			発注数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	発注	1取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。		数量、発注数
110	152	数量			発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。		発注単位区分、発注単位数、入数
111	153	数量			発注数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」=151「発注数量(バラ)」		発注ケース数、発注単位数
112	154	数量			発注単位コード	必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	○	単位
					<出荷数量>								
113	159	数量			出荷数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷バラ数。出荷時に卸／メーカー側がセット		出荷数量
114	160	数量			出荷数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット		
					<原価>								
115	131	金額			原単価	必須	数字（小数点以下2桁有り）	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。		原価単価、原単価
					<売価>								
116	134	金額			売単価	任意 [*]	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。		売価単価、売単価
				<欠品情報>									
117	165	数量			欠品数量（バラ数）	必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	出荷	1取引明細（発注）単位の卸／メーカー側の欠品数（納品不足数）。バラ数量換算。出荷時に卸／メーカー側がセット		欠品数量
118	166	数量			欠品数量(発注単位数)	任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1取引明細（発注）単位の卸／メーカー側の欠品数（納品不足数）。発注単位換算。出荷時に卸／メーカー側がセット		
119	197	各種区分（決済）			欠品区分	任意	数字	Code	2	出荷	卸／メーカー側出荷時に、実出荷数が発注数に不足（欠品）が発生した場合、出荷者がセットするその理由。	○	欠品理由、欠品区分
					<取引明細>								
120	121	番号			取引番号（発注・返品）	必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味		伝票番号、伝票番号+C/D
121	123	番号			取引明細番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味		伝票行番号、行番号
122	101	日付関連			発注日	必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）		発注日
123	103	日付関連			最終納品先納品日	必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。		店納品指定日、納入日、納品日
					<商品>								
124	72	商品関連			商品コード（GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJAN/EAN/UPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定		JANコード、頭0+JANコード（14桁）
125	73	商品関連			商品コード（発注用）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。		商品コード、JANコード、EOS（社内コード）
126	74	商品関連			商品コード（取引先）	任意	英数	Identifier	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。		受注者商品コード、取引先品番、品番
127	75	商品関連			商品コード区分	必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	○	
128	87	商品関連			商品分類（大）	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		DPTNo、群番、グループコード、部門
129	88	商品関連			商品分類（中）	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		売場分類No、地区、部門コード、日流経由区分、デパート
130	89	商品関連			商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		品揃分類No、品種（商品コードの一部）、ラインコード、ライン、店コード（一括伝票）

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目 [*]
131	90	商品関連			商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		関係会社分類コード、SKU（商品コードの一部）、クラス+サブクラスコード
					<区分>								
132	171	各種区分（発注）			商品区分	任意	数字	Code	2	発注	定番(プロバー)発注or特売(中目,目玉)発注を表す区分。	○	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分
133	172	各種区分（発注）			発注区分	任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（密注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	○	発注区分、データ区分
134	174	各種区分（発注）			EOS区分	任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。	○	
135	184	各種区分（決済）			処理種別	任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には2「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	○	伝票区分
					<発注数量>								
136	151	数量			発注数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	発注	1取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。		数量、発注数
137	152	数量			発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。		発注単位区分、発注単位数、入数
138	153	数量			発注数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」＝151「発注数量(バラ)」		発注ケース数、発注単位数
139	154	数量			発注単位コード	必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。（例：K g， c m、個 等）	○	単位
					<原価>								
140	131	金額			原単価	必須	数字（小数点以下2桁有り）	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。		原価単価、原単価
					<売価>								
141	134	金額			売単価	任意 [※]	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。		売価単価、売単価

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コ ド リ ス ト	現行入力しているデータ項目 [*]
1	1	データ整合性	送信者ID				必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。		
2	2	データ整合性	送信者ID発行元				必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する		
3	3	データ整合性	受信者ID				必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。		
4	4	データ整合性	受信者ID発行元				必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する。		
5	5	データ整合性	バージョン				必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。		
6	6	データ整合性	インスタンスID				必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い140文字程度のユニークIDを生成し入力する。		
7	7	データ整合性	メッセージ種				必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。		
8	8	データ整合性	作成日時				必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間		
9	9	データ整合性	テスト区分ID				任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストの範囲を作成する。		
10	10	データ整合性	最終送信先ID				任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先の範囲を作成する。		
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID				必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に“MSG-”を足したものを入力する。		
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
15	15	データ整合性	取引数				任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。		
			<支払企業>											
16	21	登場人物：小売	支払法人コード				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれで異なる会社コードが入る。		法人コード、支払法人コード、チェーンストアコード
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれで異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「O」固定。		
			<発注者>											
18	23	登場人物：小売	発注者コード				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。		社コード、法人コード、チェーンストアコード
19	24	登場人物：小売	発注者GLN				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。		
20	25	登場人物：小売	発注者名称				任意	文字	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ				任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		社名称、法人名称、加盟企業名称
			<取引>											
22	121	番号		取引番号（発注・返品）			必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品単位。 伝票番号と同じ意味		伝票番号、伝票番号＋C/D
23	122	番号		取引付属番号			任意	数字	Identifier	MAX10	出荷	取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元伝NO、配達伝票番号など）		外注№、密注№、伝票行番号、配達伝票番号
			<直接納品先>											
24	27	登場人物：小売		直接納品先コード			任意 [※]	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。アパレル・生鮮食材以外の場合、必須項目となる。		物流センターコード、店舗コード、
25	28	登場人物：小売		直接納品先GLN			任意 [※]	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定。アパレル・生鮮食材以外の場合、必須項目となる。		
26	29	登場人物：小売		直接納品先名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
27	30	登場人物：小売		直接納品先名称カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		物流センター名称、店舗名称
			<最終納品先>											
28	31	登場人物：小売		最終納品先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。		物流センターコード、店舗コード
29	32	登場人物：小売		最終納品先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定		
30	33	登場人物：小売		最終納品先名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。		
31	34	登場人物：小売		最終納品先名称カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。		物流センター名称、店舗名称
			<計上部署>											
32	35	登場人物：小売		計上部署コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。		物流センタコード、店舗コード
33	36	登場人物：小売		計上部署GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「O」固定		
34	37	登場人物：小売		計上部署名称（カナ）			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	35「計上部署コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。		物流センター名称、店舗名称
			<陳列場所>											
35	38	登場人物：小売		陳列場所コード			任意 [※]	英数	Identifier	MAX13	発注	売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。 Gondラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。棚包を分けるためのキーとしてセットする。		納品カテゴリ、カテゴリコード
36	39	登場人物：小売		陳列場所名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。		
37	40	登場人物：小売		陳列場所名称カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。		
			<請求取引先>											
38	51	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。		取引先コード
39	52	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「O」固定		
40	53	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名			任意	文字	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
41	54	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称
			<取引先>											
42	55	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。		取引先コード、メーカーコード

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

1. メッセージ別項目一覧（アパレル対応版）

平成18年度 経済産業省委託事業 流通システム標準化事業

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コ ド リ ス ト	現行入力しているデータ項目 [*]
43	56	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉		取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」 固定		
44	57	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉		取引先名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
45	58	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉		取引先名称カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称
46	59	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		枝番			任意	英数	Identifier	MAX2	発注	一つの取引先コードの中で、取引明細データの括り分けられる場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。		デボ、部門、枝番、受注企業コード・予備
47	60	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		出荷先コード			任意	英数	Identifier	MAX4	発注	55「取引先コード」+59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括り分けを必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。		出荷先コード、フローア
				<物流関連指示>										
48	63	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		出荷場所GLN			任意 [※]	数字	Identifier	MAX13	出荷	取引先の出荷拠点を表す、取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。		
49	64	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		入荷管理用メーカーコード			任意	数字	Identifier	MAX13	出荷	預りDCで使用するメーカーのプライベートコード		
50	125			センター納品書番号			任意	数字	Identifier	MAX10	出荷	卸／メーカーが、小売のセンターに納品する際に使用する納品書の番号。		送品書№
51	175	各種区分（物流）		納品経路			任意	数字	Code	2	発注	小売が卸／メーカーに対し、店舗直接納品なのか、センター経由納品かを指定する区分。	○	納品区分、納入センター区分、ストック区分
52	176	各種区分（物流）		便№			任意	数字	Code	2	発注	小売店舗への納品配達便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	○	便、便情報、便コード
53	177	各種区分（物流）		通過在庫区分			任意	数字	Code	2	発注	卸／メーカーの小売センターへの納品後、卸、センター内で店舗仕分けの上で配送がされるか（通過）、センターに一旦在庫されるか（在庫）を表す。	○	在庫区分、通過在庫区分
54	178	各種区分（物流）		納品区分			任意	数字	Code	2	発注	卸／メーカーの小売センターへの納品形態。単品総量納品か単品店別納品なのかを表す。	○	センター納品方法、単品総量区分
				<取引内容>										
55	87	商品関連		商品分類（大）			必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		DPT№、群番、グループコード、部門
56	88	商品関連		商品分類（中）			必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		売場分類№、地区、部門コード、日流經由区分、デパート
57	101	日付関連		発注日			必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）		発注日
58	102	日付関連		直接納品先納品日			任意	数字	Date	8	発注	27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。アパレル・生鮮食材以外の場合、必須項目となる。預りDCから納品する際の項目のセット方法については、次年度以降継続して検討を行う。		センター納品日、店着荷指定日
59	103	日付関連		最終納品先納品日			必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。		店納品指定日、納入日、納品日
60	104	日付関連		訂正後直接納品先納品日			任意	数字	Date	8	出荷	卸／メーカー側が、受注後、出荷までに27「直接納品先コード」28「直接納品先GLN」への納品日を訂正する場合、訂正後の納品日をセット		
61	105	日付関連		訂正後最終納品先納品日			任意	数字	Date	8	受領	卸／メーカー側が、出荷データ上で27「直接納品先コード」28「直接納品先GLN」への納品日を訂正した場合、その訂正に伴って発生する31「最終納品先コード」32「最終納品先GLN」への納品日訂正を小売側が受領データ上でセット。		
62	106	日付関連		計上日			必須	数字	Date	8	受領	小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。		納入日、計上日、店着荷指定日
63	107	日付関連		販促開始日			任意	数字	Date	8	発注	小売店頭の販促（セール）開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が橋包（SCMラベル等）に表記して納品。チラシなど、あえて橋包を分ける必要がある場合のみセットする。		売上開始日、売出し
64	108	日付関連		販促終了日			任意	数字	Date	8	発注	小売店頭の販促（セール）終了日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が橋包（SCMラベル等）に表記して納品。		
65	171	各種区分（発注）		商品区分			任意	数字	Code	2	発注	定番(プロパー)発注or特売(中目,目玉)発注を表す区分。	○	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分
66	172	各種区分（発注）		発注区分			任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	○	発注区分、データ区分
67	173	各種区分（発注）		出荷データ有無区分			任意	数字	Code	2	発注	小売側が、卸／メーカーの出荷データ作成の要不要を指定する項目。	○	EDI区分
68	174	各種区分（発注）		EOS区分			任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。	○	
69	181	各種区分（商品）		PB区分			任意	数字	Code	2	発注	当該商品が、小売側が開発した独自商品（プライベートブランド商品）か、ナショナルブランド商品かを表す区分。	○	
70	182	各種区分（商品）		配送温度区分			任意	数字	Code	2	発注	温度により特別な処理を行う場合に告知する項目。配送温度帯指定。季節、小売の保管環境で変化する。	○	
71	183	各種区分（商品）		酒区分			任意	数字	Code	2	発注	当該発注商品が酒であるかどうかを判別する区分。卸／メーカーでセンターの在庫ロケーションを特定する際に使用。	○	
72	184	各種区分（決済）		処理種別			任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には2「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	○	伝票区分
73	186	各種区分（決済）		伝票レス区分			任意	数字	Code	2	発注	小売が卸／メーカーにペーパー伝票作成の要・不要を告知する区分。	○	伝票有無区分、EDI区分、在庫センター区分
74	201	税		税区分			任意 [※]	数字	Code	2	発注	消費税の区分（込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	○	税区分
75	202	税		税率			任意	数字（小数点以下1桁有り）	Numeric	3	発注	消費税率を表す。		税率
76	231	コメント		自由使用欄			任意	文字	Text	MAX60	受領	伝票に表記する配達番号、配達日、売出しなど、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。		伝票の自由使用欄（発注）
77	232	コメント		自由使用欄半角カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX60	受領	伝票に表記する配達番号、配達日、売出しなど、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。		伝票の自由使用欄（発注）、承認№(受領伝票)
				<取引合計>										
78	133	金額		原価金額合計			必須	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引番号（発注・返品）単位の原価金額の合計。1取引明細の132「原価金額」の足し上げ		原価金額
79	136	金額		売価金額合計			必須	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引番号（発注・返品）単位の売価金額の合計。1取引明細の135「売価金額」の足し上げ		
80	138	金額		税額合計金額			任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引番号（発注・返品）の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ		
81	157	数量		数量合計			必須	数字	Quantity	MAX6	再計算	1取引番号（発注）単位の151「発注数量(バラ)」の合計。		
82	158	数量		発注単位数量合計			任意	数字	Quantity	MAX6	再計算	1取引番号（発注）単位の153「発注数量(発注単位数)」の合計。		合計ケース数（一括伝票）
				<取引明細>										
83	123	番号			取引明細番号（発注・返品）		必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味		伝票行番号、行番号
84	124	番号			取引付属明細番号		任意	英数	Identifier	MAX4	出荷	122「取引付属番号」の中でさらに商品単位の明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明細番号		外注№、密注№、（一括伝票に対する行内のオカレンス番号）
85	89	商品関連			商品分類（小）		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		品揃分類№、品種（商品コードの一部）、ラインコード、ライン、店コード（一括伝票）
86	90	商品関連			商品分類（細）		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		関係会社分類コード、SKU（商品コードの一部）、クラス+サブクラスコード
87	109	日付関連			配達予定日		任意	数字	Date	8	発注	配達必要商品の管理上、配達予定日を帳票などに表記してもらう必要がある場合、その日付。		配達予定日
88	111	日付関連			納品期限		任意	英数	Text	MAX8	発注	31「最終納品先コード」、32「最終納品先GLN」への納品許容日。製品の日付と比較して、入荷を許容する日付。		納品期限、入荷期限
89	179	各種区分（物流）			センター納品詳細指示		任意	数字	Code	2	発注	納品形態を詳細に指示する場合、センターでの仕分けに必要な項目を告知。	○	
					<商品>									
90	71	商品関連			メーカーコード		任意	数字	Identifier	MAX13	発注	JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合（レポート管理等）に使用。		メーカーコード（3桁の独自コード）

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目 [*]
91	72	商品関連			商品コード（GTIN）		必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定		JANコード、頭0+JANコード（14桁）
92	73	商品関連			商品コード（発注用）		必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。		商品コード、JANコード、EOS（社内コード）
93	74	商品関連			商品コード（取引先）		任意	英数	Identifier	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。		受注者商品コード、取引先品番、品番
94	75	商品関連			商品コード区分		必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	○	
95	77	商品関連			商品名		任意	文字	Text	MAX25	発注	73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成等に使用する。		
96	78	商品関連			商品名カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX25	発注	73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		商品名称
					<商品規格>									
97	79	商品関連			規格		任意	文字	Text	MAX25	発注	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
98	80	商品関連			規格カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX25	発注	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		商品名称
					<カラー>									
99	81	商品関連			カラーコード		任意 [※]	英数	Identifier	MAX10	発注	商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。		カラーコード
100	83	商品関連			カラー名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	81「カラーコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
101	84	商品関連			カラー名称カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	発注	81「カラーコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		カラー名称
					<サイズ>									
102	82	商品関連			サイズコード		任意 [※]	英数	Identifier	MAX10	発注	商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。		サイズコード
103	85	商品関連			サイズ名称		任意	文字	Text	MAX30	発注	82「サイズコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
104	86	商品関連			サイズ名称カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX30	発注	82「サイズコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		サイズ名称
					<原価>									
105	131	金額			原単価		必須	数字（小数点以下2桁有り）	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。		原価単価、原単価
106	132	金額			原価金額		必須	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の商品の原価金額（131「原単価」×151「発注数量/バラ」）。小数以下のまらめ方法は当事者間で決定（四捨五入、切捨て、切上げ）		原価金額
					<売価>									
107	134	金額			売単価		必須	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。		売価単価、売単価
108	135	金額			売価金額		必須	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の商品の売価金額（134「売単価」×151「発注数量/バラ」）。		売価金額
					<税額>									
109	137	金額			税額		任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の132「原価金額」の消費税額。		消費税等
					<発注数量>									
110	151	数量			発注数量（バラ）		必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	発注	1取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。		数量、発注数
111	152	数量			発注単位		必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。		発注単位区分、発注単位数、入数
112	153	数量			発注数量（発注単位数）		必須	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」＝151「発注数量/バラ」		発注ケース数、発注単位数
113	154	数量			発注単位コード		必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	○	単位
114	155	数量			発注荷姿コード		任意	数字	Code	2	発注	納品の実梱包形態にそった発注単位を設定している場合に限り、その荷姿を明示。バラ、ボール、ケース（この項目を使用する場合は154「発注単位コード」は必ず「個」になる） この項目で卸／メーカーに対し、納品荷姿の指定をすることはしない。	○	
					<出荷数量>									
115	159	数量			出荷数量（バラ）		必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷バラ数。出荷時に卸／メーカー側がセット		出荷数量
116	160	数量			出荷数量（発注単位数）		任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット		
					<受領数量>									
117	162	数量			受領数量（バラ）		必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	受領	1取引明細（発注）単位の小売側の商品受領数。バラ数量換算。（卸／メーカー側がセットした159「出荷数量（バラ）」との差異の有無にかかわらずセット）		受領数量
118	163	数量			受領数量（発注単位数）		任意	数字	Quantity	MAX6	受領	1取引明細（発注）単位の小売側の商品受領数。発注単位換算。（卸／メーカー側がセットしたの160「出荷数量（発注単位数）」との差異の有無にかかわらずセット）		
119	188	各種区分（決済）			訂正区分		任意	数字	Code	2	受領	小売での検収時に出荷データと実納品との間に差が発生した場合、小売側が受領データにセットする差異理由。	○	

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XML データ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目 [*]
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。		
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は”GLN”と入力する		
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。		
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は”GLN”と入力する。		
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。		
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。		
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。		
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間		
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストの範囲を作成する。		
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先の範囲を作成する。		
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に”MSG-”を足したものを入力する。		
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。		
			<支払企業>										
16	21	登場人物：小売	支払法人コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれで異なる会社コードが入る。	法人コード、支払法人コード、チェーンストアコード	
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれで異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「0」固定。		
			<返品者>										
18	23	登場人物：小売	発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	社コード、法人コード、チェーンストアコード	
19	24	登場人物：小売	発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。		
20	25	登場人物：小売	発注者名称			任意	文字	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	社名称、法人名称、加盟企業名称	
			<取引>										
22	121	番号		取引番号（発注・返品）		必須	数字	Identifier	MAX10		小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	伝票番号、伝票番号＋C/D	
23	122	番号		取引付属番号		任意	数字	Identifier	MAX10		取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1 取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元伝NO、配達伝票番号など）	外注No、客注No、伝票行番号、配達伝票番号	
				<返品取り場所>									
24	27	登場人物：小売		直接納品先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。	物流センターコード、店舗コード、	
25	28	登場人物：小売		直接納品先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。		
26	29	登場人物：小売		直接納品先名称		任意	文字	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
27	30	登場人物：小売		直接納品先名称カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	物流センター名称、店舗名称	
				<返品出荷先>									
28	31	登場人物：小売		最終納品先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。	物流センターコード、店舗コード	
29	32	登場人物：小売		最終納品先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定		
30	33	登場人物：小売		最終納品先名称		任意	文字	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。		
31	34	登場人物：小売		最終納品先名称カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。	物流センター名称、店舗名称	
				<計上部署>									
32	35	登場人物：小売		計上部署コード		必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。	物流センタコード、店舗コード	
33	36	登場人物：小売		計上部署GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「0」固定		
34	37	登場人物：小売		計上部署名称（カナ）		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		35「計上部署コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。	物流センター名称、店舗名称	
				<請求取引先>									
35	51	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1 企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1 つの取引先コードで行うときに使用する。	取引先コード	
36	52	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1 企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1 つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「0」固定		
37	53	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名		任意	文字	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
38	54	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称	
				<取引先>									
39	55	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、メーカーコード	
40	56	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定		
41	57	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先名称		任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
42	58	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先名称カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称	

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XML データ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コ ド リ ス ト	現行入力しているデータ項目 [*]
43	59	登場人物：卸/メーカー< ブレイク,集計調整関連>		枝番		任意	英数	Identifier	MAX2		一つの取引先コードの中で、取引明細データの括りを分ける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。		デボ、部門、枝番、受注企業コード・予備
44	60	登場人物：卸/メーカー< ブレイク,集計調整関連>		出荷先コード		任意	英数	Identifier	MAX4		55「取引先コード」+59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。		出荷先コード、フロー

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XML データ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コ ド ス ト ラ ン ト	現行入力しているデータ項目*
				<物流関連指示>									
45	180	各種区分（物流）		商品移動区分		必須	数字	Code	2		返品において、該当の商品が返却されるか、返却がされないかを表す。（返却されない・・・汚破損等により商品を小売が廃棄処分する場合等）	○	商品移動
				<取引内容>									
46	87	商品関連		商品分類（大）		必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		DPT№、群番、グループコード、部門
47	88	商品関連		商品分類（中）		必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		売場分類№、地区、部門コード、日流経由区分、デパート
48	106	日付関連		計上日		必須	数字	Date	8		小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。		納入日、計上日、店着荷指定日
49	171	各種区分（発注）		商品区分		任意	数字	Code	2		定番(プロバー)発注or特売(中目,目玉)発注を表す区分。	○	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分
50	184	各種区分（決済）		処理種別		任意	数字	Code	2		小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には2「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	○	伝票区分
51	185	各種区分（決済）		配送料免除区分		任意	数字	Code	2		返品配送料を卸／メーカー（返品先）に負担していただくかどうかを表す。	○	配送料免除区分（返品）
52	186	各種区分（決済）		伝票レス区分		任意	数字	Code	2		小売が卸／メーカーにペーバー伝票作成の要・不要を告知する区分。	○	伝票有無区分、E D I 区分、在庫センター区分
53	201	税		税区分		任意※	数字	Code	2		消費税の区分 （込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	○	税区分
54	202	税		税率		任意	数字（小数点以下1桁有り）	Numeric	3		消費税率を表す。		税率
55	217	梱包情報		梱包NO		任意	数字	Identifier	MAX36		梱包単位に付けられた№		梱包No.
56	231	コメント		自由使用欄		任意	文字	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。		伝票の自由使用欄（発注）
57	232	コメント		自由使用欄半角カナ		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。		伝票の自由使用欄（発注）、承認№(受領伝票)
				<取引合計>									
58	133	金額		原価金額合計		必須	数字	Amount	MAX10		1取引番号（発注・返品）単位の原価金額の合計。1取引明細の132「原価金額」の足し上げ		原価金額
59	136	金額		売価金額合計		必須	数字	Amount	MAX10		1取引番号（発注・返品）単位の売価金額の合計。1取引明細の135「売価金額」の足し上げ		
60	138	金額		税額合計金額		任意	数字	Amount	MAX10		1取引番号（発注・返品）の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ		
61	157	数量		数量合計		任意	数字	Quantity	MAX6		1取引番号（発注）単位の151「発注数量(バラ)」の合計。		
				<取引明細>									
62	123	番号			取引明細番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX4		121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味		伝票行番号、行番号
63	124	番号			取引付属明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4		122「取引付属番号」の中でさらに商品単位の明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明細番号		外注№、密注№、（一括伝票に対する行内のオカレンス番号）
64	89	商品関連			商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		品揃分類№、品種（商品コードの一部）、ラインコード、ライン、店コード（一括伝票）
65	90	商品関連			商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		関係会社分類コード、SKU（商品コードの一部）、クラス+サブクラスコード
66	187	各種区分（決済）			返品・値引理由コード	必須	数字	Code	3		返品、値引きの理由	○	返品理由
				<商品>									
67	71	商品関連			メーカーコード	任意	数字	Identifier	MAX13		J A Nメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合（リポート管理等）に使用。		メーカーコード（3桁の独自コード）
68	72	商品関連			商品コード（GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定		JANコード、頭0+JANコード（1 4桁）
69	73	商品関連			商品コード（発注用）	必須	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。		商品コード、JANコード、EOS（社内コード）
70	74	商品関連			商品コード（取引先）	任意	英数	Identifier	MAX14		卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。		受注者商品コード、取引先品番、品番
71	75	商品関連			商品コード区分	必須	数字	Code	3		73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	○	
72	77	商品関連			商品名	任意	文字	Text	MAX25		73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。		
73	78	商品関連			商品名カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX25		73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		商品名称
				<商品規格>									
74	79	商品関連			規格	任意	文字	Text	MAX25		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
75	80	商品関連			規格カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX25		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		商品名称
				<カラー>									
76	81	商品関連			カラーコード	任意※	英数	Identifier	MAX10		商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。		カラーコード
77	83	商品関連			カラー名称	任意	文字	Text	MAX20		81「カラーコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
78	84	商品関連			カラー名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		81「カラーコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		カラー名称
				<サイズ>									
79	82	商品関連			サイズコード	任意※	英数	Identifier	MAX10		商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。		サイズコード
80	85	商品関連			サイズ名称	任意	文字	Text	MAX30		82「サイズコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
81	86	商品関連			サイズ名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX30		82「サイズコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		サイズ名称
				<原価>									
82	131	金額			原単価	必須	数字（小数点以下2桁有り）	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価単価。		原価単価、原単価
83	132	金額			原価金額	必須	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価金額（131「原単価」×151「発注数量(バラ)」）。小数以下のまゝるめ方法は当事者間で決定（四捨五入、切捨て、切上げ）		原価金額
				<売価>									
84	134	金額			売単価	必須	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価単価。		売価単価、売単価
85	135	金額			売価金額	必須	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価金額（134「売単価」×151「発注数量(バラ)」）。		売価金額
				<税額>									
86	137	金額			税額	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の132「原価金額」の消費税額。		消費税等

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XML データ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コ ン テ ン ト	現行入力しているデータ項目 [*]
					<返品数量>								
87	164	数量			返品数量（バラ）	必須	数字（小数点以下 1 桁有り）	Quantity	MAX7		1 返品明細での73「商品コード（発注用）」の返品バラ数。		

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XML データ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目 [*]
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。		送信者ID
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は”GLN”と入力する		“CODE”ないし“GLN”
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。		受信者ID
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は”GLN”と入力する。		“CODE”ないし“GLN”
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。		“1”
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。		
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。		“Invoice”
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間		作成日・時間
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスコープを作成する。		“1”
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスコープを作成する。		最終送信先ID
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に”MSG-”を足したものを入力する。		
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。		
16	21	登場人物：小売	支払法人コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なる会社コードが入る。		法人コード、支払法人コード、チェーンストアコード
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれで異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「0」固定。		
18	23	登場人物：小売	発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。		社コード、法人コード、チェーンストアコード
19	24	登場人物：小売	発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。		
20	25	登場人物：小売	発注者名称			任意	文字	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		社名称、法人名称、加盟企業名称
22	51	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。		取引先コード
23	52	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は		
24	53	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先名			任意	文字	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
25	54	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先名カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称
26	114	日付関連		対象期間開始		任意	数字	Date	8		請求支払いの対象となる仕入の期間開始日。		買掛締期間（開始日）、対象期間・自
27	115	日付関連		対象期間終了		必須	数字	Date	8		請求支払いの対象となる仕入の期間終了日。 締め日。		買掛締期間（終了日）、対象期間・至
28	127	番号		請求書番号		任意	数字	Identifier	10		請求者（卸／メーカー）が小売に行う請求の単位。番号付番の体系は当事者間で任意に決定。		請求書番号
29	121	番号		〈取引〉									
30	61	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉	発行区分			任意	数字	Code	MAX2		商品代金の請求を行う卸／メーカー企業が、自社の売掛管理の括り（例：事業所別、地区別など）に合わせて請求支払いをする場合に任意で使用。請求データにセットされた値がそのまま支内データに引き継がれる。		発行区分、伝票区分
31	62	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉	連番			任意	数字	Numeric	5		商品代金の請求を行う卸／メーカー企業が、発行区分内で請求データを連番管理する場合に使用。請求データにセットされた値が、そのまま支内データに引き継がれる。		連番、レコード連番
32	35	登場人物：小売		計上部署コード		必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。		物流センタコード、店舗コード
33	36	登場人物：小売		計上部署GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「0」固定		
34	37	登場人物：小売		計上部署名称（カナ）		任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		35「計上部署コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。		物流センター名称、店舗名称
35	55	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先コード			任意 [※]	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。		取引先コード、メーカーコード
36	56	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先GLN			任意 [※]	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定		
37	57	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先名称			任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
38	58	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先名称カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称
39	87	商品関連		商品分類（大）		任意 [※]	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		DPTNo、群番、グループコード、部門
40	88	商品関連		商品分類（中）		任意 [※]	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		売場分類No、地区、部門コード、日流経由区分、デパート
41	106	日付関連		計上日		必須	数字	Date	8		小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。		納入日、計上日、店着荷指定日
42	138	金額		税額合計金額		任意	数字	Amount	MAX10		1取引番号（発注・返品）の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ		
43	139	金額		請求金額符号		必須	文字	Code	1		請求金額の正負。（例：仕入は＋、返品、値引は－）		
44	141	金額		請求金額		必須	数字	Amount	MAX11		請求者（卸／メーカー）が小売に対して行う、1取引番号あたりの商品代金請求金額。		請求金額
45	189	各種区分（決済）		請求区分		任意	数字	Code	2		当月（回）請求、前月（回）繰越請求を区別する区分。	○	請求区分

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目 [*]
46	190	各種区分（決済）			未払買掛区分	任意	数字	Code	2		請求（支払）データが、小売側にとって買掛（商品代金）計上するのか未払い金（商品以外の代金）計上するのかを区別する区分。	○	レコード区分、区分
47	192	各種区分（決済）			支払内容	必須	数字	Code	4		支払内容を表すコード。内容はコードリスト参照。	○	伝票区分（支払い内容）、請求区分、支払区分
48	201	税			税区分	任意 [※]	数字	Code	2		消費税の区分（込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	○	税区分
49	202	税			税率	任意	数字（小数点以下1桁有り）	Numeric	3		消費税率を表す。		税率

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XML データ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目*
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。		
2	2	データ整合性	発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する		
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。		
4	4	データ整合性	発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する。		
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。		
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。		
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。		
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間		
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストの範囲を作成する。		
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先の範囲を作成する。		
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に“MSG-”を足したものを入力する。		
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。		
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。		
16	21	登場人物：小売	支払法人コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれで異なる会社コードが入る。		法人コード、支払法人コード、チェーンストアコード
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれで異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「0」固定。		
18	23	登場人物：小売	発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。		社コード、法人コード、チェーンストアコード
19	24	登場人物：小売	発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。		
20	25	登場人物：小売	発注者名称			任意	文字	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		社名称、法人名称、加盟企業名称
22	51	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。		取引先コード
23	52	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「0」固定		
24	53	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先名			任意	文字	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
25	54	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先名カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称
26	114	日付関連	対象期間開始			任意	数字	Date	8		請求支払いの対象となる仕入の期間開始日。		異掛締期間（開始日）、対象期間・自
27	115	日付関連	対象期間終了			必須	数字	Date	8		請求支払いの対象となる仕入の期間終了日。 締め日。		異掛締期間（終了日）、対象期間・至
28	127	番号	請求書番号			任意	数字	Identifier	10		請求者（卸／メーカー）が小売に行う請求の単位。番号付番の体系は当事者間で任意に決定。		請求書番号
29	121	番号	取引番号（発注・返品）			必須	数字	Identifier	MAX10		小売側が卸／メーカーに行う発注、返品単位。 伝票番号と同じ意味		伝票番号、伝票番号+C/D
30	61	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉	発行区分			任意	数字	Code	MAX2		商品代金の請求を行う卸／メーカー企業が、自社の売掛管理の振り（例：事業所別、地区別など）に合わせて請求支払いをする場合に任意で使用する。請求データにセットされた値がそのまま支払い案内データに引き継がれる。		発行区分、伝票区分
31	62	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉	連番			任意	数字	Numeric	5		商品代金の請求を行う卸／メーカー企業が、発行区分内で請求データを連番管理する場合に使用。請求データにセットされた値が、そのまま支払い案内データに引き継がれる。		連番、レコード連番
32	35	登場人物：小売	計上部署コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。		物流センタコード、店舗コード
33	36	登場人物：小売	計上部署GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「0」固定		
34	37	登場人物：小売	計上部署名称（カナ）			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		35「計上部署コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。		物流センター名称、店舗名称
35	55	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先コード			任意 ※	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。		取引先コード、メーカーコード
36	56	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先GLN			任意 ※	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定		
37	57	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先名称			任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		
38	58	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先名称カナ			任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称
39	87	商品関連	商品分類（大）			任意 ※	英数	Identifier	MAX10	請求	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）		DPTNo、群番、グループコード、部門
40	88	商品関連	商品分類（中）			任意 ※	英数	Identifier	MAX10	請求	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）		売場分類No、地区、部門コード、日流経由区分、デパート
41	106	日付関連	計上日			必須	数字	Date	8	請求	小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。		納入日、計上日、店着荷指定日
42	116	日付関連	支払日			任意	数字	Date	8	支払	小売側が請求先（卸／メーカー）に支払い（振込）をする日付。		支払年月日
43	138	金額	税額合計金額			任意	数字	Amount	MAX10	支払	1取引番号（発注・返品）の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ		
44	139	金額	請求金額符号			必須	文字	Code	1	請求	請求金額の正負。（例：仕入は＋、返品、値引は－）		

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目…小売各社の現行入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

連番	Ver1.0 番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	引継 項目	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目*
45	140	金額			支払金額符号	必須	文字	Code	1	支払	支払金額の正負。（例：仕入は＋、相殺、返品、値引は－）		
46	143	金額			金額符号（小売自由使用）	任意※	文字	Code	1		「金額」（小売自由使用）の正負		
47	141	金額			請求金額	必須	数字	Amount	MAX11	請求	請求者（卸／メーカー）が小売に対して行う、1取引番号あたりの商品代金請求金額。		請求金額
48	142	金額			支払金額	必須	数字	Amount	MAX11	支払	小売が請求者（卸／メーカー）に対して支払う、1取引番号あたりの商品代金。		金額、金額合計、消費税額計、支払金額、原価（符号付き）
49	144	金額			金額（小売自由使用）	任意	数字	Amount	MAX11		請求照合の結果、卸／メーカーへの支払い額以外に開示する項目（小売計上額、請求残、次回繰越額等）の金額をセット。		アンマッチ買掛計上金額
50	184	各種区分（決済）			処理種別	任意	数字	Code	2	支払	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には2「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	○	伝票区分
51	189	各種区分（決済）			請求区分	任意	数字	Code	2	請求	当月（回）請求、前月（回）繰越請求を区別する区分。	○	請求区分
52	190	各種区分（決済）			未払買掛区分	任意	数字	Code	2	請求	請求（支払）データが、小売側にとって買掛（商品代金）計上するのか未払い金（商品以外の代金）計上するのかを区別する区分。	○	レコード区分、区分
53	191	各種区分（決済）			照合結果	必須	数字	Code	2	支払	卸／メーカーの請求額と小売側の買掛額を照合した結果を告知する項目。	○	計上区分、マッチ区分、備考コード
54	192	各種区分（決済）			支払内容	必須	数字	Code	4	請求	支払内容を表すコード。内容はコードリスト参照。	○	伝票区分（支払い内容）、請求区分、支払区分
55	193	各種区分（決済）			支払内容（個別）	必須	数字	Code	4	支払	192「支払内容」の内訳。小売側で独自に管理しているコードをセット。		伝票区分（支払い内容）
56	194	各種区分（決済）			支払内容（個別名称）	必須	文字	Text	MAX25	支払	193「支払内容（個別）」に対する名称。		
57	195	各種区分（決済）			支払内容（個別名称カナ）	必須	文字（半角カナ）	Text	MAX25	支払	193「支払内容（個別）」に対する名称（半角カナ）。		
58	196	各種区分（決済）			支払方法区分	任意	数字	Code	2	支払	手形、銀行振込 等	○	
59	201	税			税区分	任意※	数字	Code	2	請求	消費税の区分（込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	○	税区分
60	202	税			税率	任意	数字（小数点以下1桁有り）	Numeric	3	請求	消費税率を表す。		税率

※ 該当項目が属する中間層が任意である場合、必須項目になります。詳細は「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。
* 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

番号	分類1	分類2	項目名	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	次世代有無	変換有無	項目の意味①（次世代EDI標準メッセージ上の意味）	項目の意味②（値札メッセージにおける意味）	コードリスト	実行入力しているデータ項目*	印字例
0	データ整合性		テスト区分							SBDHの定義を参照	SBDHの定義を参照		詳細はマッピングシートで提出済み	
2			メッセージ種							SBDHの定義を参照	SBDHの定義を参照		データ種別	
3			データ作成日							SBDHの定義を参照	SBDHの定義を参照		データ処理日付・日付	
4			データ作成時刻							SBDHの定義を参照	SBDHの定義を参照		データ処理日付・時刻	
8			データ送信元							SBDHの定義を参照	SBDHの定義を参照		帳票枚数	
5			取引件数							SBDHの定義を参照	SBDHの定義を参照		チェーンストアコード	
32			最終送信先							SBDHの定義を参照	SBDHの定義を参照		最終送信先	
	登録人物・小売	発注者	発注者コード	必須	数字			○	○	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。			社コード、法人コード、チェーンストアコード	
			発注者GLN	必須	数字			○	○	商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。				
			発注者名称	任意	文字			○	○	13「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。				
			発注者名称カナ	任意	文字（半角カナ）			○	○	13「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			社名称、法人名称、加盟企業名称	
	登録人物・値札発行者	値札ベンダ	発行者コード	必須	数字						値札発行を行う企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。			
			発行者GLN	任意	数字						値札発行を行う企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により値札ベンダ側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定			
			発行場所	任意	数字						値札発行場所を表す項目。アパレル側で実施する場合や値札ベンダが発行する場合、また発行場所がアパレル／値札ベンダ内で複数ある場合には、発行場所を特定するために入力する		発行場所、作業場所、発行場所マーク、配達区分	
	登録人物・卸／メーカー	取引先	取引先コード	必須	数字			○	○	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。			取引先コード、仕入先コード	
			取引先GLN	任意	数字			○	○	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定				
			値札納品先	任意	数字						値札発行者が値札を納品する場所（取引先への受渡場所）をあらわす独自コード。値札ベンダが取引先に値札を納品する場合に使用する。		値札受渡場所	
	商品関連	商品	メーカーコード	任意	数字			○		JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合（リポート管理等）に使用。	値札に印字するメーカーコード		メーカーコード（3桁の独自コード）	
			商品コード（GTIN）	任意	数字			○		共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定	値札に印字する商品コード（JANあるいはGTIN）		JANコード、頭0+JANコード（14桁）	
			商品コード（発注用）	必須	数字			○		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。	値札に印字する小売独自品番（SKUコード）		商品コード、JANコード、EOS（社内コード）、POSコード	
			商品コード（取引先）	必須	数字			○		卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。	値札に印字する取引先商品管理コード（アパレル品番）		受注者商品コード、取引先品番、品番、自社商品コード、メーカー品番	
			商品コード（区分）	必須	数字			○		73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	「商品コード（発注用）」のコード種別を認識するためのコード	○		
			商品名	任意	文字			○		73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。	値札に印字する商品名称		商品名	
		商品規格	規格	任意	英数			○		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。値札に印字される。		商品規格名称	
			規格カナ	任意	文字（半角カナ）			○		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。値札に印字される。		商品規格カナ	
		カラー	カラーコード	必須	数字			○	両方有	商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。	値札に印字する商品カラーを表すコード。		カラーコード	
			カラー名称	任意	文字			○		81「カラーコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	カラーコードに対する名称。値札の印字に利用する。小売側が入力したカラー名称を印字するか、値札発行時にカラーコードから変換印字を行うかは双方の合意に基づき事前に取り決めを行う。		カラー名称	
			カラー名称カナ	任意	文字（半角カナ）					81「カラーコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	カラーコードに対するカナ名称。値札の印字に利用する。小売側が入力したカラー名称を印字するか、値札発行時にカラーコードから変換印字を行うかは双方の合意に基づき事前に取り決めを行う。		カラー名称カナ	
		サイズ	サイズコード	必須	数字			○	両方有	商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。	値札に印字する商品サイズを表すコード。		サイズコード	
			サイズ名称	任意	文字			○		82「サイズコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	サイズコードに対する名称。値札の印字に利用する。小売側が入力したサイズ名称を印字するか、値札発行時にサイズコードから変換印字を行うかは双方の合意に基づき事前に取り決めを行う。		サイズ名称FULL	
			サイズ名称カナ	任意	文字（半角カナ）			○		82「サイズコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	サイズコードに対するカナ名称。値札の印字に利用する。小売側が入力したサイズ名称を印字するか、値札発行時にサイズコードから変換印字を行うかは双方の合意に基づき事前に取り決めを行う。		サイズ名称	
		分類	部門	任意	数字						商品を課別／管理する部門を把握するための印字を行う項目。商品分類（大）～（細）、課別場所コードなどで包まれるか。		部門、部門コード	
			アソートメントユニット	任意	数字						商品のアソート方法を把握するための印字を行う項目。商品分類（大）～（細）、課別場所コードなどで包まれるか。		アソートメントユニット	
			商品分類（大）	必須	英数			○		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	値札に印字する小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		商品分類（大）、品番コード、群番、グループコード、部門、カテゴリー、素材コード、品種	
			商品分類（中）	必須	英数			○		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	値札に印字する小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		商品分類（中）、ユニットコード、中分類、品番、クラス、品番コード	
			商品分類（小）	任意	英数			○		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	値札に印字する小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		JAN2桁、小分類、短縮SKU	
			商品分類（細）	任意	英数			○		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	値札に印字する小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		JAN2桁、小分類、短縮SKU	
			課別場所コード	任意	英数			○		売場の商品課別場所ごとに商品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。 Gondラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。	売場の商品課別場所などを値札に印字する場合に指定。 Gondラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。		フェイスNo、ラインコード、課別グルーピング	
	日付関連	発注	発注日（商品）	必須	日付			○		小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）			発注日	
			入荷予定日	任意	日付					（最終納品先納品日）			入荷予定日、納品日、納品年月	
			値札発行指図	必須	日付						商品を21「最終納品先コード」または22「最終納品先GLN」へ納品する納品日。 値札データを送付／発行依頼を行った期日を入力（データ型は自動的に「日付」?）		（値札）発注日	
			値札受け渡し日	必須	日付						ベンダからアパレルへ値札が受け渡される期日（到着日）		納入年月、値札お渡し日	
			値札印字	販売開始日	任意	日付					店頭で商品の販売を開始した期日を示す項目		販売開始日、販売開始週No、販売開始	
				販売終了日	任意	日付					店頭での販売を終了する（予定）期日を示す項目		販売期間（販売終了日）、販売終了週No、販売終了日、販売終了年月	
	番号	値札発行指図	発行依頼No	必須	数字						小売側が値札発行を依頼する単位。		発行依頼番番号、値札作成番号	
			発注	取引番号（発注・返品）	任意	数字		○		発注メッセージから数量を把握する場合など、関連する発注情報特定するために利用する。			発注番No、発注数量、伝票番号	
				取引明細番号（発注・返品）	任意	数字		○		121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	発注メッセージから数量を把握する場合など、関連する発注情報特定するために利用する。		伝票行番号、行番号	
	金額	値札印字	原単価	任意	数字			○		1取引明細の商品の原価単価。	商品の原価。仕入作業や店頭における商品管理のために番号化して値札上に印字する場合がある。		原価単価、原単価	
			売単価	任意	数字			○		1取引明細の商品の売価単価。	値札に印字する商品の売単価。		売価単価、売単価	
			本体価格	任意	数字						値札に印字する商品の税抜き価格。		本体価格	
			税込価格	任意	数字						値札に印字する本体価格に消費税額を加えた実売単価		表示売価、タグ売価（税込）	
			標準売価	任意	数字						値札に印字する標準売価。		標準売価、消し札元売価	
			値下げ売価	任意	数字						値札に印字する値下げ後の実売単価。		値下げ売価、マークダウン用売価	
			消札売価	任意	数字						値札に印字する値下げ前の商品単価。		消し札売価	
	数量	値札数量	発行数量	任意	数字						値札取り付け対象となる商品SKU（品番）ごとの値札発行数量。		値札発行枚数、マークダウンシール枚数	
			合計数量	任意	数字						各値札の発行数量の合計。		合計枚数	
			発注	発注数量（バラ）	任意	数字		○		1取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。			店別発注数	
	各種区分	値札発行指図	値札区分	任意	数字						発行する値札の区分（定番品用、催事／セール用等）を識別するための項目	○	値札区分、値札識別フラグ、	
			値札種類	任意	数字						発行する値札の種類（白黒地、セール用赤札、シール札等）を認識するための項目	○	札種、シール区分、タグ種、値札種類	
			発行形態	任意	数字						アパレルでの発行あるいは値札ベンダにおける発行のいずれかの値札の発行形態を識別する項目であり、小売ーアパレル双方合意の上で、小売側でセットする		タグ発行形態	
			値札受渡方法	任意	数字						小売が値札ベンダに発行を依頼した場合、ベンダからアパレルへ値札を受け渡す方法（郵送や値札ベンダからの配送等）を設定する		値札受渡方法、受渡区分、値札受渡場所、配達先コード	
		値札印字指図	税込表示区分	任意	数字				コードリスト		値札の価格表示が税込になっているかを識別するためのコード	○	税込み表示	
			本体価格表示区分	任意	数字				コードリスト		値札に本体価格を表示する場合を識別するためのコード	○	本体表示価格区分	
		値札印字	バンドル区分	任意	数字				コードリスト		よりどり、組売り、切り売りなど、商品の販売形態を識別する項目。値札の印字に使用する。	○	販売形態、バンドル、販売区分、切り売り区分	よりどり〇番、きりうり〇cm、〇足組
			バンドル単位	任意	数字				コードリスト		よりどり、組売り、切り売りなどを行う場合に、商品の販売単位を識別する項目。値札の印字に使用する。	○	選り取り単位、切り売り単位	よりどり〇番、きりうり〇cm、〇足組
			バンドル数量	任意	数字				コードリスト		よりどり、組売り、切り売りなどを行う場合に、商品の販売数量を識別する項目。値札の印字に使用する。		選り取り数	よりどり〇番、きりうり〇cm、〇足組

番号	分類1	分類2	項目名	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	次世代有無	変換有無	項目の意味①（次世代EDI標準メッセージ上の意味）	項目の意味②（値札メッセージにおける意味）	コードリスト	実行入力しているデータ項目*	印字例
			商品区分	任意	数字			（商品区分）	記号印字	定番(プロバー)発注or特売(中目玉)発注を表す区分。	プロバー商品、特売商品など、商品の取り扱いを把握するための印字を行う項目。		商品区分	
			販売区分	任意	数字			（商品区分）	記号印字	定番(プロバー)発注or特売(中目玉)発注を表す区分。	プロバー、特売など、販売方法を把握するための印字を行う項目。（商品区分と同義か）		販売区分	
			仕入区分	任意	数字			（処理種別）	記号印字	当該取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）で小売で使用する伝票区分にあたる。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別にはメッセージ種を使用し、処理種別の内容で卸間判断を求めることが無いようにする。	委託取引など、取引内容を把握するための印字を行う項目。			
			シーズン区分	任意	数字				記号印字		商品の取扱時期を表す区分。値札に印字を行う。		シーズン区分、シーズンコード、期遇、季節区分	
	印字情報	バーコード	バーコード1	任意	数字				バーコード印字		値札に印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。		中分類+品番+JAN2桁、仕入区分+SKU縮合せコード	
			バーコード2	任意	数字				バーコード印字		値札に印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。		JAN	
			バーコード3	任意	数字				バーコード印字		値札に印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。		バーコード売価	
			バーコード4	任意	数字				バーコード印字		値札に印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。		販売コード+部門コード+税込価格	
			バーコード5	任意	数字				バーコード印字		値札に印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。		アイテムコード+小分類+売価+サイズカラー短縮	
		自由使用欄	自由使用欄（文字列）1	任意	文字				文字列印字		値札に印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。		マインドコード、コミ品番区分	
			自由使用欄（文字列）2	任意	文字				文字列印字		値札に印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。		値札メッセージ	
			自由使用欄（文字列）3	任意	文字				文字列印字		値札に印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。		売注区分、追加区分、委託区分	
			自由使用欄（文字列）4	任意	文字				文字列印字		値札に印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。		データ区分	
			自由使用欄（文字列）5	任意	文字				文字列印字		値札に印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。		ニチリウ区分、グルーピングコード	
			自由使用欄（日付）1	任意	日付				日付印字		値札に印字する日付を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。		リオーダー納品月	
			自由使用欄（日付）2	任意	日付				日付印字		値札に印字する日付を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。		初回入荷日	
			自由使用欄（日付）3	任意	日付				日付印字		値札に印字する日付を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
			自由使用欄（日付）4	任意	日付				日付印字		値札に印字する日付を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
			自由使用欄（日付）5	任意	日付				日付印字		値札に印字する日付を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
			自由使用欄（数値）1	任意	数字				数値印字		値札に印字する数値を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
			自由使用欄（数値）2	任意	数字				数値印字		値札に印字する数値を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
			自由使用欄（数値）3	任意	数字				数値印字		値札に印字する数値を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
			自由使用欄（数値）4	任意	数字				数値印字		値札に印字する数値を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
			自由使用欄（数値）5	任意	数字				数値印字		値札に印字する数値を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
	コメント		自由使用欄	任意	文字			○		伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。	値札発行に關する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま参照するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。			
			自由使用欄半角カナ	任意	文字（半角カナ）			○		伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。	値札発行に關する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま参照するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。			

* 実行入力しているデータ項目・・・小売各社の実行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。